

HDMA-4100

取扱説明書

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社
カスタマーサポート
TEL：078-265-1552
FAX：078-265-1550
(月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00
※土日祝および当社指定休日を除く)

安全にお使いいただくために

絵表示について

本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。
内容をよく理解してから本文をよくお読みください。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。



注意

は注意を促す事項を示しています。



禁止

はしてはいけない行為を示しています。



強制

はしなければならない行為を示しています。



警告



禁止

●電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



分解禁止

●キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



禁止

●ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。



禁止

●内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



禁止

●雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

●ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



火災

●直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

●煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



プラグを抜く

●製品が破損した状態で使用しない

本製品を落したり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



注意



注意

●不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

●お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。



注意

●付属のACアダプタ

会社名：

UNIFIVE TECHNOLOGY (ShenZhen) Co.,
Ltd.

型：UIA336-12



注意

●コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。



火災

●本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。

通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



注意

●長時間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

■個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①で記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特定の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
* 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
* お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは<http://www.mediaedge.co.jp>までご連絡ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
- (7) MEDIAEDGEは、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- (8) HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- (9) BX35F、BX50Fはオムロン株式会社の商標または登録商標です。
- (10) Pioneerおよびそのロゴはパイオニア株式会社の登録商標です。
- (11) Manufactured under license from Dolby Laboratories.
- (12) Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
- (13) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。
- 本書では、Webブラウザは、Internet Explorer 7以降を意味します。



警告

■健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「めまい・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

HDMA-4100

取扱説明書

February 1, 2012

Copyright © 2012 MEDIAEDGE Corporation.

All rights reserved.

目 次

Chapter 1

1 はじめに	2
1-1 で使用に当たっての留意事項	2
1-2 パッケージ内容の確認	3
1-3 当社ホームページについて	4
1-4 利用許諾について	4
1-5 HDDとファンの交換について	4
2 HDMA-4100について	5
2-1 HDMA-4100概要	5
2-2 HDMA-4100の特長	6

Chapter 2

1 HDMA-4100の各部の名称と機能	10
1-1 HDMA-4100前面部	10
1-2 HDMA-4100背面部	12
2 機器の接続	13
3 起動・終了	15
3-1 起動	15
3-2 電源を切る（シャットダウン）	16
4 初期設定	17
4-1 映像出力フォーマットの設定	17
4-2 IPアドレスを設定する	19
4-3 WOL（Wake On LAN）	23
4-4 DIPスイッチの設定内容	24
5 ダウンロードサイトについて	25

Chapter 3

1 コンテンツの作成方法例.....	28
1-1 出力パラメータの設定	28
2 コンテンツの更新方法.....	30
2-1 ネットワーク経由のコンテンツの更新方法.....	30
2-2 USB経由のコンテンツの更新方法	34
2-3 コンテンツ更新制御ファイルの書き方	35
2-4 記述例	36

Chapter 4

1 スケジュール再生について	40
1-1 スケジュール再生の概要	40
2 スケジュール再生の使用方法.....	41
3 HDMA Schedulerについて	42
3-1 HDMA Schedulerとは	42
4 インストール	43
4-1 HDMA Schedulerのインストール.....	43
5 アンインストール	45
5-1 HDMA Schedulerのアンインストール.....	45
6 HDMA Schedulerを使う	47
6-1 起動方法	47
6-2 HDMA Schedulerのメイン画面	48
6-3 メニューバー	49
6-4 スケジュールを作成する	54
6-5 スケジュールを出力する	57
6-6 スケジュールの保存	61
6-7 スケジュールの読み込み	61
7 リモコン（オプション）	62

Chapter 5

1 スケジュールの作成方法.....	64
1-1 スケジュールファイルの書式.....	64
1-2 スケジュールファイルが不正な場合の動作.....	67
1-3 スケジュール例	68

Chapter 6

1 シリアル制御	76
1-1 使用方法	77
1-2 コンテンツファイルの管理	78
1-3 コマンド詳細(Pioneer LD/DVD互換モード)	81
1-4 コマンド詳細(HDMA-4000 Ver.1.X互換モード)	89
1-5 シリアルコマンドの自動実行	91

Chapter 7

1 VODモードについて	94
2 VODモードの設定	95
2-1 HDMA-4100をメニューモードに設定する	95
2-2 HDMA-4100をチャンネルモードに設定する	96
2-3 ローカルメニュー画面の構成	98
2-4 メニュー画面の構成	100
2-5 チャンネルモード	102
2-6 デフォルトコンテンツについて	102
2-7 コンテンツを再生する～数字番号の指定～	103
2-8 コンテンツを番号順に再生する	103
3 リモコン（オプション）	104

Chapter 8

1 Webブラウザによる設定	106
1-1 HDMA-4100 Webコンソールの呼び出し	106
1-2 準備と起動	106
1-3 HDMA-4100 トップページ	108
2 ファームウェアのアップデート	138
2-1 アップデート方法	138
3 メンテナンスモード	140
3-1 メンテナンスモードとは	140
3-2 ファームウェアの復旧	142
3-3 ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合	144

Appendix

- 1 制限事項.....146
- 2 ハードウェア仕様.....147
- 3 リモコンIDの設定.....150
- 4 無停電電源装置との接続.....151
- 5 無線ネットワークの使用.....152
- 6 コネクタピン配置.....153



Chapter 1

この章では、HDMA-4100のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- はじめに
- HDMA-4100について

1 はじめに

1-1 ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。また、CPUなどを規格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して、他人の著作物(例：CD・DVD・ビデオプログラム等に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する音声・映像)を録音・録画する場合の注意点は、下記の通りになります。

- 著作物は、個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とするときで、その使用するものが複製又は編集をする場合等を除き、その複製又は編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に表示されている権利者、又は権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者から許諾を受けて、複製又は編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製又は編集等をして、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、又はインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること(自己のホームページの一部に組込む場合も同じ)は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物又はその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

1-2 パッケージ内容の確認

HDMA-4100のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました代理店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート

電話：078-265-1552

(月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

■HDMA-4100同梱物

☐ HDMA-4100本体

☐ ACアダプタ

☐ リモコン (オプション)

リモコンには動作確認用の単4乾電池が2個付属しています。

☐ 取扱説明書 (本書)

■お客様情報登録

下記ページにて、ご購入された製品とお客様情報のご登録をお願いします。

メディアエッジ株式会社 お客様情報登録ページ

<http://www.mediaedge.co.jp/enq/u-reg.html>

1-3 当社ホームページについて

HDMA-4100をはじめとする当社最新情報をホームページ (<http://www.mediaedge.co.jp>) にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

1-4 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部にGNU一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）またはGNU劣等一般公衆利用許諾（GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

1-5 HDDとファンの交換について

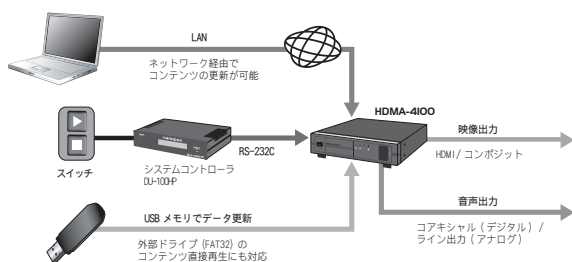
HDDとファンは、消耗もしくは劣化する部品です。本機を正常に且つ安心してご使用いただくために、本製品使用開始後1年間を目安に本製品内蔵のHDDとファンを交換するようにしてください。HDDおよびファンの交換につきましては、ご購入いただきました代理店もしくはシステム設置業者までお問い合わせください。

2 HDMA-4100について

2-1 HDMA-4100概要

HDMA-4100は、内蔵HDDまたはネットワーク上のHDコンテンツを再生する装置です。ネットワークやUSBメモリなどによりコンテンツ更新が簡単にでき、スケジュール再生やVODモード、シリアル制御によるコントロールにも対応しています。HDDの代わりにメモリドライブを使用して完全可動部レスな環境を構築することもできます。

■HDMA-4100接続機器イメージ



●HDMA-4100では以下のモードで使うことができます。

- ・スケジュール再生モード(Chapter 4、5参照)
スケジュールファイル(Schedule.txt)を使用して、日付や時刻を指定したスケジュール再生を行う動作モードです。
- ・シリアル制御モード(Chapter 6参照)
HDMA-4100をRS-232C接続した機器から再生/制御を行う動作モードです。
- ・VODモード(Chapter 7参照)
オプションのリモコンを使用する動作モードで、メニューモードとチャンネルモードで構成されています。
 - メニューモード
メニュー画面の中から見たいコンテンツを選択し、再生します。メニューはHDMA-4100内蔵HDDのメニュー、もしくはMEDIAEDGE-SVS4がインストールされているコンピュータのWebサーバーから取得したページを使用します。コンテンツの再生が終わると再びメニュー画面が表示されます。

-チャンネルモード

メニュー画面を表示せずにテレビのチャンネル切り替えのようにリモコンの数字ボタンでコンテンツを選択します。チャンネル番号は1～99です。コンテンツが何も選択されていないときや選んだコンテンツの再生終了後は「デフォルトコンテンツ」と呼ばれる映像が自動的に再生されます。チャンネルモードではチャンネル番号とコンテンツ(RTSP URL)との関連付けをあらかじめ行っておく必要があります。

2-2 HDMA-4100の特長

●ハイコストパフォーマンス

HD再生システムとして十分な機能を持つHDMA-4100。高いコストパフォーマンスを実現しています。

●カスタマイズによる様々なシステムを構築可能

スケジューラによる自動再生システムやタッチパネル操作のシステムなど、様々な用途への応用が可能です。

●編集から再生までのトータルソリューションを提供

HDV/AVCHDカメラの映像をHD対応編集システムに取り込み、タイムラインからMPEG-2、H.264映像で出力。ネットワークを介してHDMA-4100を接続すれば、編集と再生の一元化を図れます。

●DVD/LDプレイヤー互換コマンド制御対応

パイオニア製業務用DVD/LDプレイヤー互換コマンド（サブセット）に対応。DVD/LDプレイヤーからの置き換えもスムーズに行えます。

●対応フォーマット

- ・ファイル形式
 - MPEG-2トランスポートストリーム(m2t)
 - MPEG-2プログラムストリーム(m2p)
 - AVCHD 形式 (m2ts, mts)
- ・ビデオ
 - MPEG-2ビデオ(最大40Mbps)
 - H.264(最大20Mbps)

- ・オーディオ
 - MPEG-1 Audio Layer2
 - Dolby Digital
 - MPEG-2 AAC(AAC-LC)

●SMILファイルに対応

SMIL(Synchronized Multimedia Integration Language)によるマルチコンテンツ（動画、静止画、Flash、HTML、テロップ）のレイアウト再生に対応。

*各コンテンツは同時に1つまでしか再生できません。

*本機能を利用する場合は、Display Content Managerが必要となります。

○ 静止画

- ・ JPEG(JFIF、Exif形式)、GIF、PNG、BMP(非圧縮Windows形式)
- ・ 静止画最大サイズ2000x2000

○ Flash(Flash バージョン7対応)

- ・ SWF形式

※コンテンツに含まれる音声は再生されません。

○ HTML

- ・ htmlファイル

○ テロップ

- ・ テキスト、RSS形式

○ オーディオ

- ・ MP3(MPEG-1 Audio Layer3)
- ・ wave

※動画と排他使用となります。

●IPv6に対応

次世代インターネットプロトコルIPv6に対応。

※ただし、一部機能についてはIPv4でのみ動作します。

ポイント

●SMILファイルについて

SMIL、複数レイアウト表示およびテロップ表示については「Display Content Manager」(別売)付属のマニュアルを参照してください。



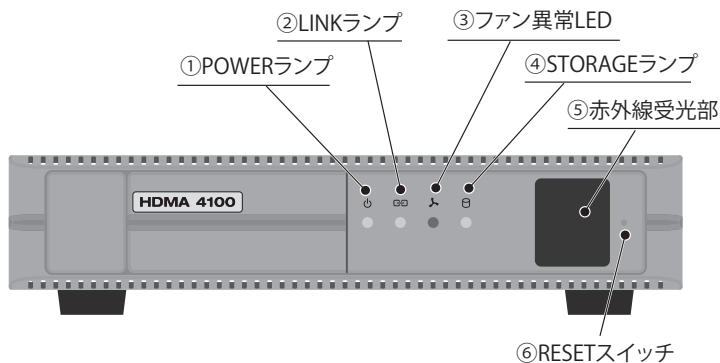
Chapter 2

この章では、HDMA-4100の各部の機能、起動／終了方法などを説明します。

- HDMA-4100の各部の名称と機能
- 機器の接続
- 起動・終了
- 初期設定
- ダウンロードサイトについて

1 HDMA-4100の各部の名称と機能

1-1 HDMA-4100前面部



①POWERランプ HDMA-4100操作時に点灯します。

- 消灯 電源が入っていません。
- 緑色点灯 動作中です。
- 橙色点灯 スタンバイ状態です。
- 橙色点滅 Wake On LANスタンバイ状態です。
- 緑色点滅 起動中/終了中です。

②LINKランプ ネットワークの状態を表示します。

- 消灯 ネットワーク機器と接続されていません。
- 点灯 ネットワーク機器と接続されており、データを送受信していません。
- 点滅 ネットワーク機器と接続されており、データを送受信しています。

③ファン異常LED HDMA-4100内蔵ファンのエラー時に点灯します。

- 消灯 ファンが正常に動作しています。
- 点灯 ファン異常を検出しました。

④STORAGEランプ HDMA-4100内蔵 HDDにアクセス中に点灯します。

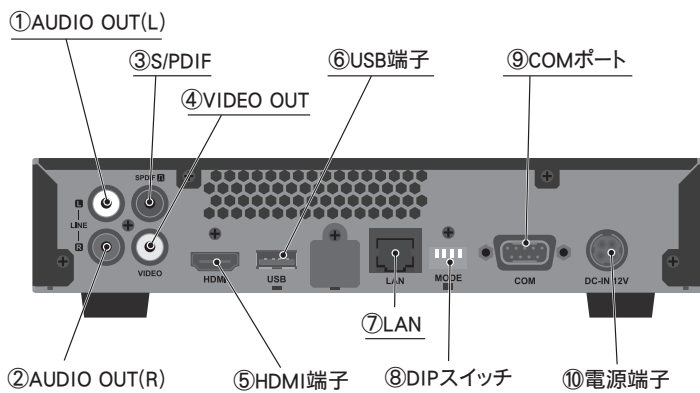
⑤赤外線受光部 リモコンの赤外線受光部が内蔵されています。

⑥RESETスイッチ 緊急時のリセットに使用します。押してすぐにはなすとリセットします。通常は使用しないでください。3秒以上押しつづけた場合は「メンテナンスモード」へ移行します。

注 意

ファンの異常を検出した場合、自動的にHDMA-4100は停止します。ファン異常LEDが点灯し、ファンの停止が認められる場合、当社システム管理者、もしくはカスタマーサポート部までご連絡ください。

1-2 HDMA-4100背面部

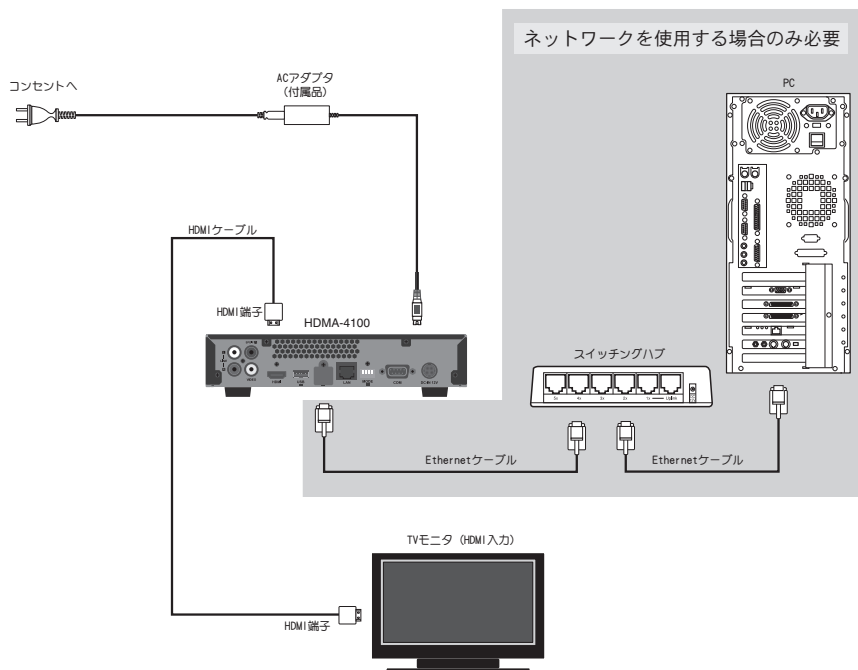


- ①AUDIO OUT (L)オーディオ出力端子（左側）です。
- ②AUDIO OUT (R)オーディオ出力端子（右側）です。
- ③S/PDIF同軸デジタル音声出力端子です。
- ④VIDEO OUTコンポジットビデオ信号出力端子です。
- ⑤HDMI 端子HDMI出力端子です。
- ⑥USB端子USBデバイスを接続する端子です。
- ⑦LANEthernetケーブルを接続する端子です。
- ⑧DIPスイッチWOLを有効にするとき、もしくは映像出力フォーマットを変更する場合に使用します(「映像出力フォーマットの設定」または「DIPスイッチの設定内容」を参照)。
- ⑨COMポートシリアル接続に使用します。
- ⑩電源端子付属のACアダプタを接続します。付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

2 機器の接続

以下の接続例を参考に、HDMA-4100と周辺機器を接続してください。

※HDMA-4100に関する設定を行う場合やコンテンツの転送を行う場合には、下記の設定が必要となります。



注意

HDMA-4100にACアダプタを接続すると電源が入り、ネットワーク接続を開始します。すべてのケーブルの接続が完了してからACアダプタを接続してください。電源を入れた後でネットワークケーブルを接続した場合、ネットワーク接続の確立に多少時間がかかる場合があります。

注 意

Ethernetケーブルを接続しない場合でも動作モードの設定によってHDMA-4100は起動し再生を開始します。

注 意

ビデオ出力モードの設定は、Chapter 2、4を参照し、ご使用のTVモニタに適合した設定を行ってください。

注 意

ネットワーク設定は、Chapter 2「HDMA-4100でIPv4アドレスを設定する場合」もしくは「HDMA-4100でIPv6アドレスを設定する場合」を参照してください。

3 起動・終了

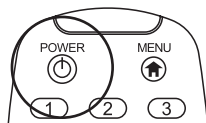
3-1 起動

HDMA-4100を起動します。

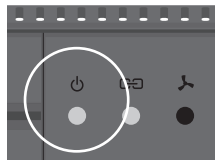
本文記載のリモコンはオプション製品となります。

- 1** リモコンの[POWER]ボタンを押してください。

※設定によりリモコンを無効にしている場合は、リモコンではHDMA-4100が起動できません。前面のRESETスイッチを押して起動してください。



HDMA-4100本体のPOWERランプが点滅しHDMA-4100が起動します。



- 2** 起動するとPowerランプが点灯します。起動時の動作モードによってコンテンツを再生、もしくは再生可能な状態で待機します。

ヒント

リモコンが使用できない場合、HDMA-4100本体の設定でリモコンの使用が無効に設定されているか、HDMA-4100本体と使用しているリモコンのIDが一致していないことが考えられます。

Webコンソールで本体側のリモコンIDを確認し、リモコン側のリモコンIDを設定してください。

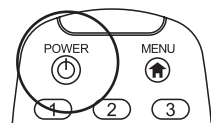
※リモコンのIDの設定については、Appendix「3 リモコンIDの設定」を参照してください。

3-2 電源を切る (シャットダウン)

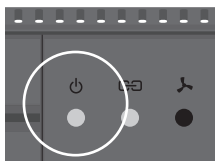
HDMA-4100の電源を切ります。

- 1** リモコンの[POWER]ボタンを押してください。

※設定によりリモコンを無効、もしくは電源のみ無効にしている場合は、リモコンではHDMA-4100を終了できません。



HDMA-4100本体のPOWERランプが点滅し、HDMA-4100の電源が切れます。



ヒント

Webコンソールの[システム管理]→[再起動/停止]でもHDMA-4100の電源を切ることができます (Chapter 8参照)。

注意

コンテンツの更新中やファームウェアの更新中には絶対に終了しないでください。

注意

電源プラグをコンセントから抜く場合は必ず上記の終了処理を行い、POWERランプが橙色点灯状態であることを確認してから行ってください。内蔵HDDの故障やコンテンツファイルの破損の恐れがあります。

4 初期設定

以下の手順にしたがって、HDMA-4100をセットアップしてください。

- 映像出力フォーマットの設定
次項を参照。

- ネットワークの設定
p.19を参照。

また、以下の設定を行う場合は、各ページを参照してください。

- WOL (Wake On LAN)の設定
p.23を参照。

- DIPスイッチの設定
p.24を参照。

4-1 映像出力フォーマットの設定

HDMA-4100背面のDIPスイッチ4をONにすることにより、HDMA-4100の映像出力フォーマットを設定することができます。使用するモニタに適したフォーマットに設定してください。

ヒント

起動時にリモコンの  ボタンを長押しすることでも同様に設定することができます。

設定方法

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | HDMA-4100が起動している場合はHDMA-4100の電源を切ります。 |
| 2 | HDMA-4100背面のDIPスイッチ4をONにします。 |

3 HDMA-4100を起動し、[POWER]ランプが点滅から点灯状態になるまで待ちます。

4 リモコンの[DISP]ボタンを押すことで、表示されるフォーマットが切り替わります。適合する映像フォーマットになるとHDMA-4100 Network settings画面が表示され、この画面でネットワークの設定も可能です。



注 意

リモコンの[DISP]ボタンを押すと、映像フォーマットは以下のように移行します。
1080/59.94i(HDMI)→720/59.94p(HDMI)→720x480/59.94p(HDMI)→1080/59.94p(HDMI)→1080/50i(HDMI)→720/50p(HDMI)→720x576/50p(HDMI)→1080/50p(HDMI)→640x480/59.94p(HDMI)→NTSC(J)→NTSC(US)→PAL→…

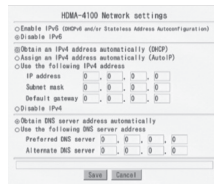
5 リモコンの[POWER]ボタンでHDMA-4100の電源を切ります。

6 HDMA-4100背面のDIPスイッチ4をOFFに戻します。

4-2 IPアドレスを設定する

HDMA-4100でIPv4アドレスを設定する場合

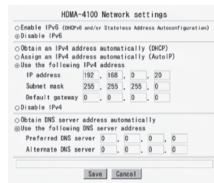
- 1** 電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの
 Ⓜ ボタンを押し続けてください。
 ※[HDMA-4100 Network settings]が起動します。
 ※HDMA-4100がすでに起動している場合は、リモコンの
 [POWER] ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動
 して、Ⓜ ボタンを押し続けてください。



ヒント

- [HDMA-4100 Network settings]画面が表示されない場合
 - 1.リモコンのⓂ ボタンを確実に押しているか確認してください。
 - 2.[ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンのⓂ ボタンを押しても[HDMA-4100 Network settings]画面は表示されません。HDMA-4100背面のDIPスイッチ4をONに設定してください。

- 2** リモコンを使って[Use the following IPv4 address]
 にチェックを付けてください。
 ※DHCP接続を行う場合は [Obtain an IPv4 address
 automatically (DHCP)] にチェックをつけ、手順4へ進ん
 でください。

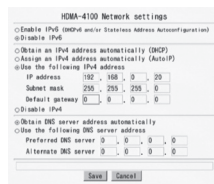


- 3** リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。
 ⏪ ⏩ ⏴ ⏵ ボタンでカーソル位置が移動し
 ます。[0]～[9]の数字ボタンで正しい数値を入力し
 てください。

ここでは、以下のように入力しています。

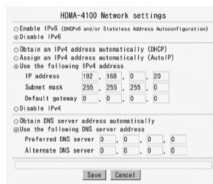
IP address 192.168.0.20
 Subnet mask 255.255.255.0
 Default gateway 0.0.0.0

※Ⓚ ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。



- 4** リモコンを使って[Use the following DNS server address]にチェックを付けてください。

※DHCP接続を行う場合は「Obtain DNS server address automatically」にチェックをつけ、手順5へ進んでください。



- 5** リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。

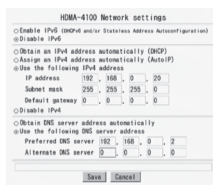
⬆️⬇️⬅️➡️ ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]の数字ボタンで正しい数値を入力してください。

ここでは、以下のように入力しています。

Preferred DNS server 192.168.0.2

Alternate DNS server 0.0.0.0

※⬮️ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。



- 6** 画面上の[Save]ボタン上でリモコンの ⏏️ ボタンを押してください。

HDMA-4100が再起動します。

ネットワーク接続の確認

- 1** HDMA-4100起動後、リモコンの ⬆️ ボタンを押して「システム情報画面」が表示されることを確認します。
- 2** 表示されない場合は以下の内容を確認してください。
 - ・HDMA-4100前面部のLINKランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合はスイッチングハブの電源やEthernetケーブルの接続を確認してください。
 - ・DHCPサーバーの動作状況・設定を確認してください。
 - ・「映像出力フォーマットの設定」を参照し、設定内容を確認してください。
- 3** 前ページの「HDMA-4100でIPv4アドレスを設定する場合」を参照し、再度IPの設定を行ってください。

HDMA-4100でIPv6アドレスを設定する場合

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの

⏻ ボタンを押し続けてください。

※[HDMA-4100 Network settings]が起動します。

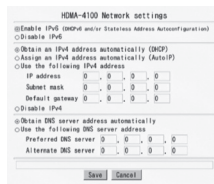
※HDMA-4100がすでに起動している場合は、リモコンの
[POWER] ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動
して、⏻ ボタンを押し続けてください。

ヒント

●[HDMA-4100 Network settings]画面が表示されない場合

1. リモコンの ⏻ ボタンを確実に押しているか確認してください。
2. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの ⏻ ボタンを押しても[HDMA-4100 Network settings]画面は表示されません。HDMA-4100背面のDIPスイッチ4をONに設定してください。

- 2** リモコンを使って[Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)]にチェックを付けてください。



- 3** 画面上の[Save]ボタン上でリモコンの  ボタンを押してください。
HDMA-4100が再起動します。

●HDMA-4100の再起動後、ネットワークに接続されない場合

IPアドレスの設定が適切に行われていません。リモコンの [POWER] ボタンを押してシャットダウン後、5秒以上経過してから再度、手順1～3を行ってください。

ネットワーク接続の確認

- 1** HDMA-4100起動後、リモコンの  ボタンを押して[システム情報画面]が表示されることを確認します。
- 2** 表示されない場合は以下の内容を確認してください。
- HDMA-4100前面部のLINKランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合はスイッチングハブの電源やEthernetケーブルの接続を確認してください。
 - 「映像出力フォーマットの設定」を参照し、設定内容を確認してください。
- 3** 前ページの「HDMA-4100でIPv6アドレスを設定する場合」を参照し、再度IPの設定を行ってください。

4-3 WOL (Wake On LAN)

WOLは終了状態のHDMA-4100をネットワーク経由で起動させることができる機能です。HDMA-4100背面部のDIPスイッチ1をONにしてHDMA-4100を終了することにより、WOLが有効となります。

注 意

HDMA-4100を終了している状態でDIPスイッチを変更した場合、変更内容は反映されません。HDMA-4100を起動後、終了させる必要があります。WOLの状態はPOWERランプが橙色点滅であるかを確認してください。

注 意

HDMA-4100背面のDIPスイッチのスイッチ2とスイッチ3は設定を変更せずにOFFの状態で使用してください。

4-4 DIPスイッチの設定内容

HDMA-4100背面のDIPスイッチには以下の設定が割り当てられています。



SW1 : WOL の有効 / 無効
ON : 有効 OFF : 無効



SW2 : 常時オフで使用してください。



SW3 : 常時オフで使用してください。



SW4 : ネットワーク設定
ON : 「Network settings」画面へ移行します。
OFF : 保存されているネットワーク設定で起動します。

5 ダウンロードサイトについて

ダウンロードサイト（<http://www.mediaedge.co.jp>）にはHDMA-4100で使用することができる以下のファイル等が公開されています。

- 制御ファイル

HDMA-4100で使用する代表的なコンテンツ更新制御ファイルが収録されています。

- スケジュールファイル

HDMA-4100で使用するスケジュールファイルのサンプルが収録されています。

- HDMA Scheduler

コンピュータ内に保存された動画ファイルをHDMA-4100用のスケジュールコンテンツとして登録し、作成および出力するソフトウェアが収録されています。



Chapter 3

この章では HDMA-4100 で再生するコンテンツの作成方法例と更新方法について説明します。

- コンテンツの作成方法例
- コンテンツの更新方法

本項で紹介する方法は一例ですが、ユニットで再生可能な動画を作成するには、適正な設定で動画をエンコードする必要があります。

本ユニットで再生可能な動画の作成につきましてお困りの場合には、ご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

1 コンテンツの作成方法例

1-1 出力パラメータの設定

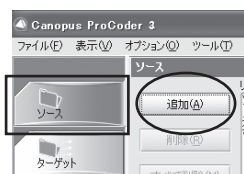
ここでは、コンバータアプリケーション「ProCoder 3」を使用したコンテンツの作成方法を紹介します。

ProCoder 3の使用方法につきましてはProCoder 3付属マニュアルを参照してください。

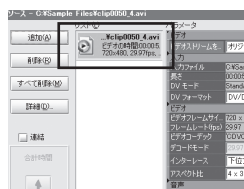
- 1 ProCoder 3を起動します。
[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[Canopus]→[ProCoder 3]→[Canopus ProCoder 3]を選択します。



- 2 画面左の[ソース]ボタンが選択されていることを確認し、[追加]ボタンをクリックして変換するクリップを選択します。



- 3 変換元のクリップがリストに追加されます。

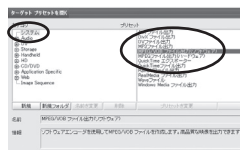


- 4 [ターゲット]ボタンをクリックして、ターゲット選択画面を開きます。



- 5 [追加]ボタンをクリックします。

- 6** プリセットの選択ダイアログで、[システム]→[MPEG/VOBファイル出力（ソフトウェア）]
または、[MPEGファイル出力（ハードウェア）]
を選択し[OK]をクリックします。



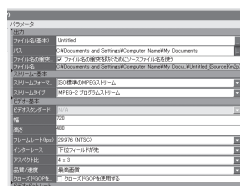
- 7** 変換ターゲットがリストに追加されます。



- 8** [詳細]ボタンをクリックし、パラメータを設定します。

※MPEG-2で出力する場合(推奨値)

- [オーディオストリームタイプ]…[MPEG Audio layer2]
 - [インターレース]……………[上位フィールドが先]
 - [プロファイル/レベル]……………[MP@HL]
- ※HDMI-4100はMP@HL、MP@H14、MP@MLに対応しています。
- [ビデオビットレート]……………最大40Mbpsまで。
 - [GOP毎にシーケンスヘッダーをつける]にチェックをつけます。



- 9** [コンバート]ボタンをクリックします。



- 10** [開始]ボタンをクリックします。
ファイルの変換が開始され、手順⑧の[パス]で指定したフォルダにファイルが作成されます。



2 コンテンツの更新方法

コンテンツは用途に応じて次の3つのコンテンツフォルダに配置（コピー）して下さい。

- (1) playlist スケジュール再生用コンテンツフォルダ
- (2) serial シリアル制御再生用のコンテンツフォルダ
- (3) filler フィラー再生用のコンテンツフォルダ

※上記3つのコンテンツフォルダは初期設定ではSamba共有が無効になっています。

※メニューモードでは、playlist と serial 以下のコンテンツが再生できます。

以下のいずれかの方法でコンテンツフォルダにコンテンツを配置することができます。

- (1) 共有フォルダ(content)からコンテンツ更新制御ファイルを使って更新する。
(Chapter 3、2-1参照)
- (2) USBストレージからコンテンツ更新制御ファイルを使って更新する。(Chapter 3、2-2参照)
- (3) コンテンツフォルダ(playlist/serial/filler)を直接更新する。(p.32「ヒント」参照)

2-1 ネットワーク経由のコンテンツの更新方法

HDMA-4100内蔵のHDD内のコンテンツ(動画ファイル)、スケジュールファイル(Schedule.txt)をネットワーク経由で更新するには、contentフォルダ(共有フォルダ)にコンテンツファイル、スケジュールファイル、コンテンツ更新制御ファイル(update.ctl)をコピーする必要があります。

- 1 インターネットエクスプローラ、もしくはエクスプローラを起動し、アドレスバーにIPアドレス（例：¥192.168.0.20）を入力し、リターンキーを押します。

※IPアドレスは、設定メニューで確認できます。



2

[content]フォルダを開きます。

※[content]フォルダにアクセスするためのユーザー名は「mediaedge」、パスワードは、「hdp」です(工場出荷時)。

※ユーザー名、およびパスワードはWebブラウザの「ローカル設定」→「ネットワーク」→「Samba共有」の項で設定することができます。



3

[content]フォルダに、コンテンツファイルをコピーします。

※シリアル制御で再生を行う場合はフォルダ構成によりタイトル、チャプター名を設定します。

※シリアル制御についてはChapter 6を参照してください。

4

スケジュールファイルを作成し、[content]フォルダにコピーします。

※当社ダウンロードサイトにHDMA-4100用のスケジュールファイルのサンプルを公開しています(p. 33~参照)。

※シリアル制御モードでコンテンツ再生を行う場合、スケジュールファイルは不要です。

※自動的に指定された日時でコンテンツ再生されるようにスケジュール再生を行う場合、スケジュールファイル(Schedule.txt)をテキストエディタで作成します。

※スケジュールファイルについてはChapter 5を参照してください。

5

[content]フォルダに、コンテンツ制御ファイル(update.ctl)をコピーします。

※[content]フォルダには使用目的に合ったコンテンツ更新制御ファイルをコピーしてください。コピーするフォルダにスクリプトファイル(delete.shなど)が含まれている場合は、スクリプトファイル、コンテンツ更新制御ファイルの順にコピーしてください。

※当社ダウンロードサイトにHDMA-4100用のコンテンツ制御ファイルのサンプルを公開しています(p. 33~参照)。

●スケジュール再生用コンテンツ更新制御ファイル
[samples]フォルダ→[content update]フォルダ
→[Schedule]フォルダ(内容物についてはp. 33~参照)

●シリアル制御用コンテンツ更新制御ファイル
[samples]フォルダ→[content update]フォルダ
→[Serial]フォルダ(内容物についてはp. 33~参照)

6

コンテンツの更新が開始されます。
更新が終了すると、新しいスケジュールで再生が
開始されます(スケジュール再生モードで動作中の
場合)。

ヒント

Webコンソール[ローカル設定]画面内で[Samba共有]の項目で[使用する]を選択することで、コンテンツ更新制御ファイルを使用することなく、直接スケジュール再生用コンテンツフォルダ(playlist)やシリアル制御再生用コンテンツフォルダ(serial)やフィラー再生コンテンツフォルダ(filler)へ書き込み/保存することが可能となります。

直接コンテンツの更新や削除を行う場合は、HDMA-4100がコンテンツの再生を停止している状態かを確認してください。

コンテンツ更新制御ファイルを使用せずにコンテンツを変更した場合は、HDMA-4100にコンテンツが変更されたことを認識させる必要があります。スケジュール再生モードの場合はリモコンの  ボタンを押してください。シリアル制御モードの場合はスケジュール再生モードへ切り替えてからシリアル制御モードへ移行してください(Chapter 6参照)。

メニューモード(ローカルメニュー)の場合はリモコンの  ボタンを押してください。

ヒント

●更新制御ファイルのサンプル

- (1) 当社ダウンロードサイトから「HDMA-4100制御用サンプルファイル」(hdma4100_control_sample_file.exe)をダウンロードしてください。
- (2) ダウンロードしたファイルをダブルクリックで実行し、画面の指示にしたがってサンプルファイルを解凍してください。

解凍したフォルダ内の[SetupFiles]フォルダ→[content update]フォルダ内に収録されている[Schedule]フォルダと[Serial]フォルダ内の更新制御ファイルサンプルは、フォルダ名によって以下の更新制御をおこなうように作成されています。

[backup] フォルダ	すでに HDMA-4100 内に保存されているコンテンツをバックアップ用フォルダへ移動し、新しいコンテンツを書き込みます。バックアップ用フォルダ内のコンテンツは削除されません。
[backup and delete] フォルダ	バックアップ用フォルダ内のコンテンツ、スケジュールファイル等は復元することも可能です（以下 [restore] フォルダの項参照）。すでに HDMA-4100 内に保存されているコンテンツをバックアップ用フォルダへ移動し、新しいコンテンツを書き込みます。バックアップ用フォルダ内のコンテンツは削除されます。
[copy] フォルダ	すでに HDMA-4100 内に保存されているコンテンツを残した状態で新しいコンテンツを追加します。同名ファイルの場合は上書き更新されます。
[delete] フォルダ	HDMA-4100 内に保存されているコンテンツを削除します。バックアップ用フォルダ内のコンテンツは削除されません。
[delete all] フォルダ	HDMA-4100 内に保存されているコンテンツをすべて削除します。バックアップ用フォルダ内のコンテンツも削除されます。
[play] フォルダ	スケジュールファイルやシリアル制御に関係なく、HDMA-4100 内に保存されたコンテンツを順番に繰り返し再生します。コンテンツの内容なども確認することができます。
[restore] フォルダ	バックアップ用フォルダ内のコンテンツおよびスケジュールファイルを復元します。最新のバックアップファイルから順に復元されます。

ヒント

●スケジュールファイルのサンプル

- (1) 当社ダウンロードサイトから「HDMA-4100制御用サンプルファイル」(hdma4100_control_sample_file.exe)をダウンロードしてください。
- (2) ダウンロードしたファイルをダブルクリックで実行し、画面の指示にしたがってサンプルファイルを解凍してください。

解凍したフォルダ内の[SetupFiles]フォルダ内に収録されている[Schedule.txt]フォルダ内には、以下のフォルダおよびファイルが収録されています。

[daily] フォルダ	スケジュールの日付に「*」を指定し、毎日同じスケジュールコンテンツを再生します。
[date-time] フォルダ	スケジュールに日付と時刻を指定し、指定した時刻に指定したコンテンツを再生します。
[RC] フォルダ	リモコンより操作を行うと、それぞれのKEYに対応したチャンネルを記述したコンテンツを再生します。
[repeat] フォルダ	コンテンツブロックに記述したファイルを順に繰り返して再生します。

2-2 USB経由のコンテンツの更新方法

前項『ネットワーク経由のコンテンツの更新方法』の手順3～5にしたがってUSBメモリにコンテンツ(動画ファイル)、スケジュールファイル(Schedule.txt)、コンテンツ更新制御ファイル(update.cti)をコピーしてください。更新に必要なファイルすべてを保存したUSBメモリをHDMA-4100のUSB端子に装着することにより、HDMA-4100は自動的にUSBデバイスの接続を認識し、コンテンツの更新が始まります。コンテンツの更新が終了すると新しいコンテンツやスケジュール再生を再開します(スケジュール再生モードで動作中の場合)。

※シリアル制御の場合は、停止状態になります。

注意

更新中にUSBデバイスを抜くと正常に更新が行われずファイルが壊れたり、再生が正常に行われない場合があるのでご注意ください。

USBメモリ内のコンテンツを直接再生している場合にはリモコンの  ボタンで再生を停止してから、USBデバイスを抜くとHDDからの再生になります(スケジュール再生モードで動作中の場合)。

2-3 コンテンツ更新制御ファイルの書き方

- ・‘#’ 以下はコメント、コメントは自由にどこにでも記述可能。
- ・項目の区切りは空白、「TAB」、「,」

一行目には更新すべきデータの種類の「*Update」の後に記述する

*Update *datatype*

datatype

*Schedule	スケジュール再生用データの更新
*Serial	シリアル制御再生用データの更新
*Filler	フィラー再生用データの更新
*Play playlist.schedule	更新せずに直接ファイルを再生する playlist.schedule（再生に使用するスケジュールファイル名）を省略した場合は Schedule.txt を使用
*Update filename	HDMA-4100 ファーム更新（更新後システムは再起動する）

二行目にはコピー方法を「*Copy」の後に記述する。

この項目は「*Update」が「*Schedule」か「*Serial」の場合に必要です。

*Copy *copytype*

copytype

*copy	再生用フォルダにデータをコピーする
*file	*File コマンドで指定されたファイルを再生用フォルダにコピーする
*backup	再生用フォルダのデータをバックアップし、データをコピーする
*restore	最新のバックアップに戻す（再生フォルダの内容は削除する）
*play	再生用フォルダ内のファイルをすべて順に再生する

三行目以降は必要な場合に記述する。

この項目は「*Update」が「*Schedule」か「*Serial」の場合以外は無視されます。

*Delete	指定したファイルを削除する
*Delete *backup	バックアップファイルを削除する
*File	*Copy で *file を指定した場合、コピーするファイルを指定する
*Script	シェルスクリプトを実行する。
*Keep	コンテンツ更新時に再生を停止しない。



コンテンツ更新制御ファイル 記述例

```
# HDMA-4100 コンテンツ更新ファイル
# 一行目には更新するデータの種別を記述
*Update          *Schedule
## [*Schedule | *Serial | *Play | *Update] - どれか一つを記述
# *Schedule      - スケジュール再生用データ
# *Serial        - シリアル制御再生用データ
# *Play          - 更新せずに再生
# *Update        - HDMA-4100 ファーム更新
*Copy            *backup # データをバックアップ後コピー
## [*copy | *file | *backup | *restore] - どれか一つを記述
*Delete *backup
**Script script01, script02, script03, script04
# スクリプトを順に実行する
```

2-4 記述例



最新のバックアップに戻す

```
*Update *Schedule
*Copy   *restore
```



指定したファイルをコピー・指定したファイルを削除

```
*Update *Schedule
*Copy   *file
*File   sample1.m2t
*File   sample2.m2t
*Delete sample3.m2t
```




シリアル制御ファイルを更新

```
*Update *Serial  
*Copy  *copy
```



コンテンツをコピーせずに直接再生する

```
*Update *Play
```



スケジュール再生用ファイルを一時的にすべて順に再生する

```
*Update *Schedule  
*Copy  *play  # 再生
```




Chapter 4

この章ではスケジュール再生を行う方法を説明します。

- スケジュール再生について
- スケジュール再生の使用方法
- HDMA Schedulerについて
- インストール
- アンインストール
- HDMA Schedulerを使う
- リモコン（オプション）

1 スケジュール再生について

1-1 スケジュール再生の概要

HDMA-4100のスケジュール再生では指定したスケジュールにしたがってコンテンツを自動再生することができます。スケジュールを実行するためには、再生するコンテンツファイルと再生方法を定義したスケジュールファイル(Schedule.txt)*1 をHDMA-4100にコピーする必要があります。

HDMA Schedulerを使うとこの作業をGUIで実行できます。

以下ではHDMA Schedulerを使ってスケジュール再生を行う方法を説明します。

※1 スケジュールファイルの詳細については次章を参照してください。

2 スケジュール再生の使用方法

- 1** スケジュール再生モードに設定する
Webコンソールで以下(工場出荷時)の設定を行います。
 - ・ [ローカル設定-システム-起動時モード]で[スケジュール再生]を選択します。
 - ・ [ローカル設定-スケジュール-コンテンツドライブ]で[内蔵ドライブ]を選択します。
 - ・ [ローカル設定-スケジュール-スケジュールファイル]で[Schedule. txt]を設定します。
 - ・ [ローカル設定-スケジュール-チャンネル]で[空白] (Blank) に設定します。→工場出荷時の状態では"Default"のスケジュール再生が開始されます。
- 2** 右上の[設定]をクリックします。[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[設定]ボタンをクリックします。
※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。
- 3** スケジュールを作成・更新する
HDMA Schedulerを使用してスケジュールの作成と更新を行います。
→更新が完了すると自動的に更新されたスケジュールの再生が開始されます。

3 HDMA Schedulerについて

3-1 HDMA Schedulerとは

HDMA Schedulerはコンピュータ内に保存された動画ファイルをHDMA-4100用のスケジュールコンテンツとして作成し、登録および出力するソフトウェアです。

必要動作環境

以下の条件を満たしている場合でも、コンピュータ本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのコンピュータでの動作を保証しているものではありません。

- 対応OS

マイクロソフト Windows XP Home Edition/Professional日本語版(Service Pack 2以降)

- CPU

Intel Pentium 4 2.4GHz以上のCPUを推奨

- メモリ

256MB以上

- グラフィックボード

1024×768ドット65536色以上の表示可能なグラフィックボード

- ネットワークボード

Ethernet 100BASE-TXに対応のもの(ネットワーク経由でコンテンツを更新する場合)

- その他

CD-ROMドライブを搭載 (CD-ROMを使用する場合)

USBインターフェース(USBメモリを使用する場合)

4 インストール

4-1 HDMA Schedulerのインストール

HDMA Schedulerをインストールします。

※インストールを行う場合は、システム設定の変更を行える権限をもつユーザーIDでログオンしてしてください。

※インストールを行う場合は、現在起動しているすべてのアプリケーションソフトウェアや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 HDMA Schedulerをダウンロードサイトから任意の場所へダウンロードし、[setup.exe]をダブルクリックしてください。
→セットアッププログラムが起動し、インストールを開始します。

- 2 [次へ]をクリックしてください。



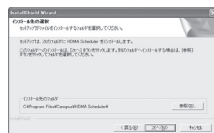
- 3 使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。

※使用許諾契約に同意されない場合は[いいえ]をクリックし、インストール作業を中止して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



- 4 [次へ]をクリックしてください。
※インストール先を変更する場合は[参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名を直接入力してください。



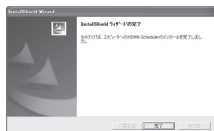
- 5 [次へ]をクリックしてください。



- 6** [次へ]をクリックしてください。
→インストールを開始します。



- 7** [完了]をクリックしてください。
→以上でインストール作業は完了です。



5 アンインストール

5-1 HDMA Schedulerのアンインストール

HDMA Schedulerを使用しなくなった場合は、アンインストールすることができます。

※アンインストールを行う場合は、システム設定の変更を行える権限をもつコンピュータの管理者などのユーザーIDでログオンしてください。

※アンインストールを行う場合は、現在起動しているすべてのアプリケーションソフトウェアや常駐ソフトウェアを終了してください。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックしてください。



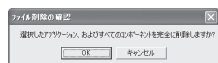
- 2 [プログラムの追加と削除]をクリックしてください。



- 3 [HDMA Scheduler]を選択し、[変更と削除]をクリックしてください。



- 4 [OK]をクリックしてください。
→アンインストールを開始します。



- 5 [完了]をクリックしてください。



6

[X]をクリックしてください。
→以上でアンインストールは完了です。



6 HDMA Schedulerを使う

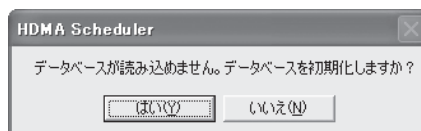
6-1 起動方法

- 1** [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[Canopus]→[HDMA Scheduler]→[Scheduler]をクリック、もしくはデスクトップ上の[HDMA Scheduler]アイコンをダブルクリックしてください。
→[HDMA Scheduler]が起動します。

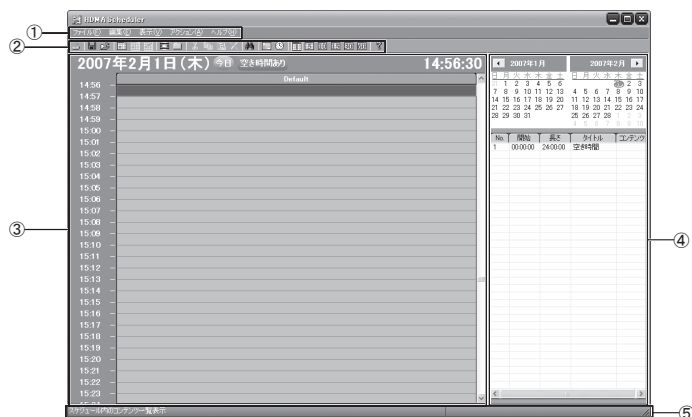


注意

初回起動時、以下のダイアログが表示される場合があります。[はい]をクリックしてください。



6-2 HDMA Schedulerのメイン画面



①メニューバー

HDMA Schedulerの設定や編集を行います(次ページ以降参照)。

②ツールバー

主に使用する機能をツール表示しています。

③チャンネル

スケジュール内容を設定/表示します。

④カレンダーバー

カレンダーを表示します。

⑤ステータスバー

ステータスを表示します。

6-3 メニューバー

ファイルメニュー



①新規作成

- ・ スケジュール

[スケジュール設定]ダイアログが起動します。現在選択中のチャンネル上にスケジュールを設定します。

- ・ チャンネル

[チャンネル設定]ダイアログが起動します。新規チャンネルを作成します。

②開く

選択されたアイテム/チャンネルを開きます。

③コンテンツ

[コンテンツ一覧]ダイアログが起動します。

④コンテンツカテゴリ

[コンテンツカテゴリ一覧]ダイアログが起動します。

⑤スケジュールの出力

[スケジュールの出力]ダイアログが起動します。

⑥スケジュールの読み込み

スケジュールファイル(拡張子.xml)を読み込みます。

⑦スケジュールの保存

スケジュールファイル(拡張子.xml)を保存します。

⑧アプリケーションの終了

HDMA Schedulerを終了します。

編集メニュー



①元に戻す

ひとつ前の操作に戻します。

②切り取り

選択した内容を切り取ります。

③コピー

選択した内容をコピーします。

④貼り付け

クリップボードに保存された内容をペーストします。

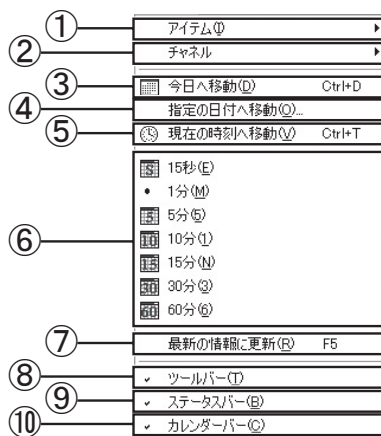
⑤削除

選択した内容を削除します。

⑥検索

コンテンツを検索します。

表示メニュー



① アイテム

アイテムの表示内容(タイトルのみ/詳細)を選択します。

② チャンネル

チャンネル幅(固定/可変)を選択します。

③ 今日へ移動

今日の日付へ移動します。

④ 指定の日付へ移動

[指定の日付へ移動]ダイアログが起動し、入力した日付へ移動します。

⑤ 現在の時刻へ移動

現在の時刻へ移動します。

⑥ グリッド表示の切り替え

チャンネルのタイムライングリッドを指定した単位に切り替えます。

⑦ 最新の情報に更新

最新の情報を表示します。

⑧ ツールバー

ツールバーの表示/非表示を選択します。

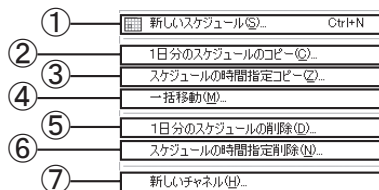
⑨ ステータスバー

ステータスバーの表示/非表示を選択します。

⑩ カレンダーバー

カレンダーバーの表示/非表示を選択します。

アクションメニュー



①新しいスケジュール

[スケジュール設定]ダイアログが起動します。現在選択中のチャンネル上にスケジュールを設定します。

②1日分のスケジュールのコピー

[1日分のスケジュールのコピー]ダイアログが起動します。1日分のスケジュール(日付、チャンネル)をコピーします。

③スケジュールの時間指定コピー

[スケジュールの時間指定コピー]ダイアログが起動します。スケジュール内容(時間)をコピーします。

④一括移動

[一括移動]ダイアログが起動します。指定した時間へスケジュール内容を移動します。

⑤1日分のスケジュール削除

[1日分のスケジュールの削除]ダイアログが起動します。スケジュールを削除する日時を指定します。

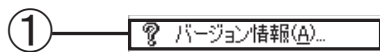
⑥スケジュールの時間指定削除

[スケジュールの時間指定削除]ダイアログが起動します。スケジュールを削除する時間帯を指定します。

⑦新しいチャネル

[チャンネル設定]ダイアログが起動します。新規チャンネルを作成します。

ヘルプメニュー



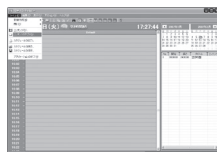
①バージョン情報

HDMA Schedulerのバージョン情報を表示します。

6-4 スケジュールを作成する

HDMA Schedulerを使用してスケジュールを作成します。

- 1 HDMA Schedulerメイン画面のチャンネル上でスケジュール再生したい時間を選択し、[ファイル]メニュー→[コンテンツカテゴリ]を選択してください。
→[コンテンツカテゴリ一覧]ダイアログが起動します。



- 2 [新規]をクリックしてください。
→[コンテンツカテゴリ設定]ダイアログが起動します。



- 3 [タイトル]欄、必要に応じて[コメント]欄に入力し、[OK]をクリックしてください。
→[コンテンツカテゴリ設定]ダイアログが閉じます。



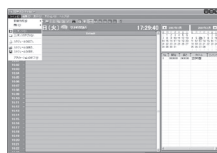
- 4 [コンテンツカテゴリ一覧]ダイアログにカテゴリが登録されます。[閉じる]をクリックしてください。
→[コンテンツカテゴリ一覧]ダイアログが閉じます。



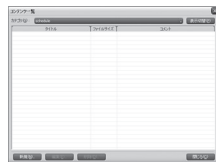
注意

ご使用になるコンテンツカテゴリの数にあわせて、手順①～④を繰り返してコンテンツカテゴリを作成してください。

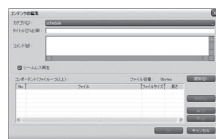
- 5 [ファイル]メニュー→[コンテンツ]を選択してください。
→[コンテンツ一覧]ダイアログが起動します。



- 6** 手順①～④で作成したコンテンツカテゴリを[カテゴリ]欄から選択し、[新規]をクリックしてください。
→[コンテンツの編集]ダイアログが起動します。



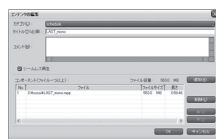
- 7** [追加]をクリックしてください。
→[ファイルを開く]ダイアログが起動します。



- 8** 登録するコンテンツを選択し、[開く]をクリックしてください。
→[ファイルを開く]ダイアログが閉じます。



- 9** [OK]をクリックしてください。
→[コンテンツの編集]ダイアログが閉じます。

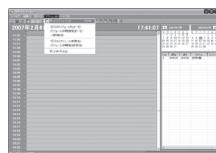


- 10** コンテンツが一覧に登録されました。[閉じる]をクリックしてください。

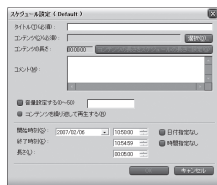
注意

ご使用になるコンテンツの数にあわせて、手順⑥～⑨を繰り返してコンテンツを登録してください。

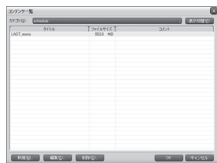
- 11** [アクション]メニュー→[新しいスケジュール]を選択してください。
→[スケジュール設定]ダイアログが起動します。



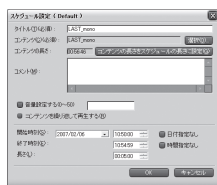
- 12** [選択]をクリックしてください。
→[コンテンツ一覧]ダイアログが起動します。



- 13** スケジュール登録するコンテンツを選択し、[OK]をクリックしてください。
→[コンテンツ一覧]ダイアログが閉じます。



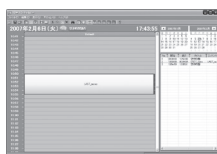
- 14** [スケジュール設定]ダイアログにスケジュール再生するコンテンツが登録されます。[開始時刻]や[終了時刻]などのコンテンツ再生内容を確認し、[OK]をクリックしてください。
→[スケジュール設定]ダイアログが閉じます。



- 15** 設定内容を確認し、[はい]をクリックしてください。

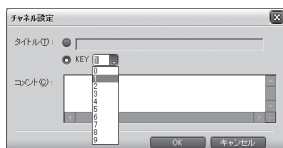


- 16** HDMA Schedulerメイン画面のチャンネル上にスケジュール内容が登録されます。
→以上でスケジュール作成は完了です。



注意

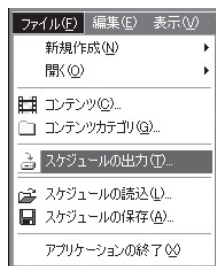
HDMA SchedulerにはHDMA-4100付属リモコンの[0]～[9]の数字ボタンにチャンネル設定を割り当てることができます。
チャンネル設定を行う場合は、[ファイル]メニュー→[新規作成]→[チャンネル]を選択し、[チャンネル設定]ダイアログを起動します。[チャンネル設定]ダイアログで[KEY]にチェックを付け、割り当てたいキー番号をプルダウンメニューより選択して[OK]をクリックしてください。



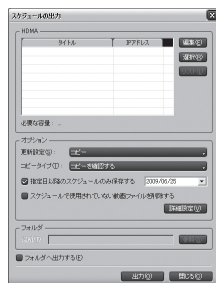
6-5 スケジュールを出力する

作成したスケジュールを以下の手順で出力します。

- 1 HDMA Schedulerメイン画面のチャンネル上でスケジュール出力したいコンテンツを選択し、[ファイル]メニュー→[スケジュールの出力]を選択してください。
→[スケジュールの出力]ダイアログが起動します。



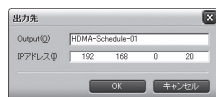
- 2 [編集]をクリックしてください。
→[出力先一覧]ダイアログが起動します。



- 3 [新規]をクリックしてください。
→[出力先]ダイアログが起動します。



- 4 出力先のタイトルを入力し、出力先を選択します。HDMA-4100に出力する場合は、出力先のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックしてください。
→[出力先]ダイアログが閉じます。

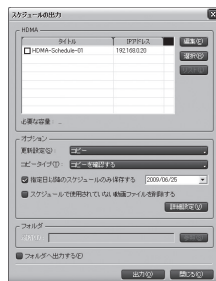


- 5 [出力先一覧]ダイアログに出力先が登録されます。登録完了後、[閉じる]をクリックしてください。
→[出力先一覧]ダイアログが閉じます。
※続けて登録する場合は、[新規]をクリックし、手順3～4を再度行ってください。



6

[選択]をクリックしてください。
→[チャンネルの選択]ダイアログが起動します。



7

HDMAを選択し、関連付けを行うチャンネルを選択し、[OK]をクリックしてください。

※[OK]をクリックすると設定内容を保存し、[チャンネルの選択]ダイアログを閉じます。[キャンセル]をクリックすると設定内容を保存せずに[チャンネルの選択]ダイアログを閉じます。

※DefaultとはHDMAが最初に再生するチャンネルです。KEY0～KEY9はリモコンの[0]～[9]の数字ボタンに対応します。空白を選ぶとそのチャンネルは再生されません。



8

出力したいHDMA をチェックし、[出力]をクリックしてください。
→HDMAへスケジュールと動画ファイルが出力されます。



注意

スケジュールが出力されない場合は以下の点を確認してください。

- ・手順⑦のチャンネルの関連付けが行われていない。
- ・手順⑧で出力したいHDMA-4100が選択されていない。

注意

スケジュールの出力時にHDMA-4100内の共有フォルダをエクスプローラで開いているとスケジュールの出力に失敗する場合があります。

スケジュール出力ダイアログについて



HDMA	[編集]ボタン HDMAを登録します。 [選択]ボタン 選択したHDMAにチャンネルを関連付けます。 [リスト]ボタン 選択したHDMA内部にあるファイルを確認します。
オプション	更新設定 コピー 出力します。 バックアップ作成&コピー 現在のHDMAのバックアップを作成し、コピーします。 バックアップから復元 バックアップが存在している場合に復元します。 コピータイプ コピーを確認する 出力前にファイルの上書きを確認後、コピーを開始します。 動画ファイルをコピーしない スケジュールのみ出力します。 既にある動画ファイルをコピーしない HDMAに同名の動画ファイルが存在している場合、コピーしません。 すべての動画ファイルをコピーする すべての動画ファイルをコピーします。

	指定日以降のスケジュールのみ保存する 指定日以降のスケジュールのみ作成します。 スケジュールで使用されていない動画ファイルを削除する 今回出力するスケジュールで使用されていない動画ファイルがHDMA内に存在している場合、削除します。
詳細設定	HDMA-4100本体へのファイルコピー速度を設定するダイアログを表示します。 ※再生しながらファイルのコピーを行って映像が乱れる場合は、コピー速度を落としてください。
フォルダへ出力する	指定したフォルダへ出力します。

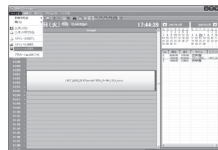
ヒント
HDMA Schedulerでは使用するデフォルトチャンネル名を"Default"に設定しています(HDMA-4100の初期設定)。デフォルトチャンネル名が変更されている場合はWebブラウザからHDMA-4100 Webコンソールを起動し、[ローカル設定]→[スケジュール]の項で[チャンネル]を空白、もしくはDefaultに設定してください。

ヒント
HDMAに出力する動画ファイルは、関連付けしたチャンネルがスケジュールで指定期間に使用されている動画となります。不要なチャンネルの関連付けは行わないでください(不要なチャンネルの関連付けを行った場合、その分の動画ファイルが出力され、HDDの容量を圧迫する恐れがあります)。

6-6 スケジュールの保存

作成したスケジュールファイルを保存することができます。

- 1 [ファイル]メニュー→[スケジュールの保存]を選択してください。
→[名前を付けて保存]ダイアログが起動します。



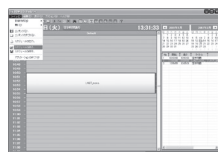
- 2 任意の場所、および名称を指定し[保存]をクリックしてください。
→以上でスケジュールの保存は完了です。



6-7 スケジュールの読み込み

作成したスケジュールファイルを読み込むことができます。

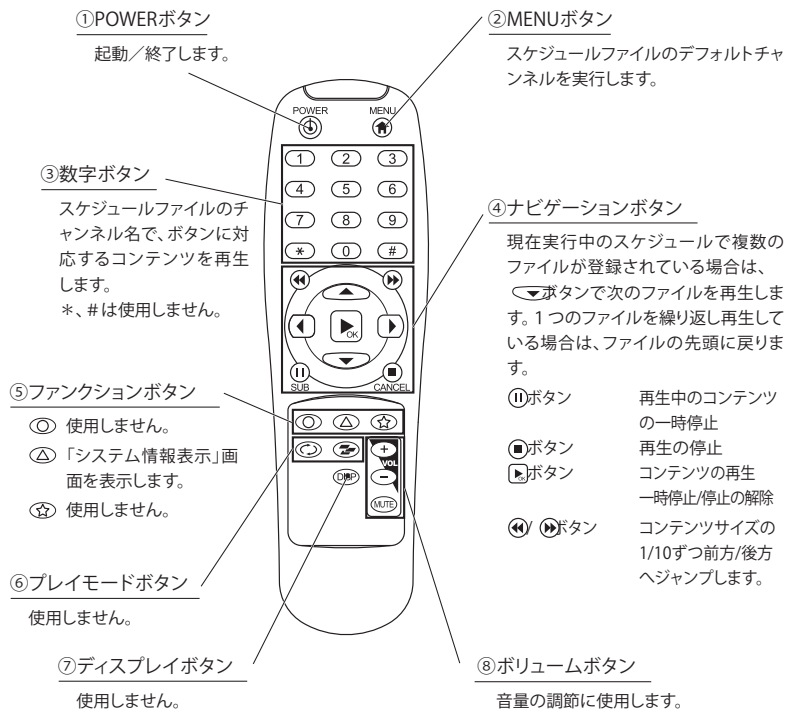
- 1 [ファイル]メニュー→[スケジュールの読込]を選択してください。
→[ファイルを開く]ダイアログが起動します。



- 2 読み込みたいスケジュールファイルを選択し、[開く]をクリックしてください。
→以上でスケジュールの読み込みは完了です。



7 リモコン (オプション)





Chapter 5

- スケジュールの作成方法

1 スケジュールの作成方法

スケジュールファイルを使用してスケジュール再生を行う場合は、テキストエディタを使用してスケジュールファイルを作成後、HDMA-4100本体への登録(コピー)を行ってください。

1-1 スケジュールファイルの書式

スケジュールファイルは **Schedule.txt** という名称のテキストファイルです。スケジュールファイルはコンテンツ定義ブロックと、スケジュール定義ブロックに分けて記述します。また、必要に応じてデフォルト定義ブロックを記述することができます。

※ファイル名は設定により変更可能です。

※ファイル名は大文字、小文字を区別します。

●コンテンツ定義ブロック

「;Contents」で始まり、コンテンツ名とそれぞれのブロックに含まれるコンテンツファイルを記述します。

コンテンツ名は行の先頭から、コンテンツファイルは先頭に「TAB」を記述してから、パス名(Schedule.txtがあるフォルダからの相対パス)を記述します。

※コンテンツファイルには動画(m2t、m2p、mpg、m2ts、mts)またはSMIL(smil)が指定できます。

※スケジュールで指定するコンテンツはここで定義します。

コンテンツ名で直接コンテンツファイルを指定することはできません。

●スケジュール定義ブロック

「;Schedule」で始まり、チャンネル名とスケジュールを記述します。チャンネル名(スケジュール)を複数記述した場合には、最初に記述したチャンネルが実行されます(初期設定時)。

チャンネル名とスケジュールの日付は行の先頭から、時間は先頭に「TAB」を記述してください。(日付や時間に「*」を指定すると、実行時の日付、時間と一致する項目がない場合には、このスケジュールが実行されます。)スケジュールに現在の日時に該当するものがない場合、再生停止状態になります。

●デフォルト定義ブロック

「;Default」で始まり、シリアル出力に関する設定や起動直後の音量設定を記述します。詳細はp.71、72の例を参照してください。

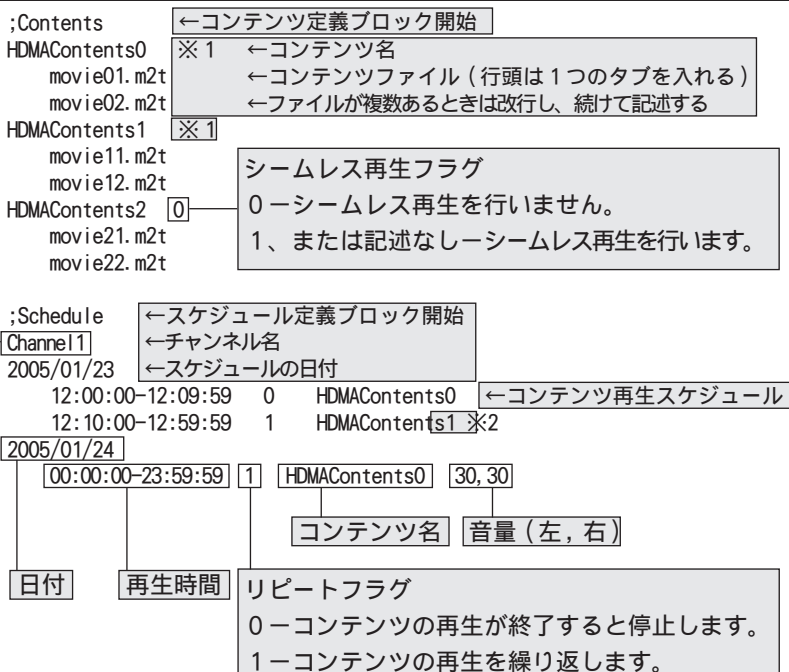
スケジュールでシームレス再生の設定や音量の設定が可能です。

※シームレス再生について

シームレス再生とは2つの異なったファイルを切れ目なく連続して再生する機能のことをいい、HDMI-4100で同一コンテンツに記述されたファイルは、シームレス再生を行います。シームレス再生を指定するにはコンテンツ定義ブロックのコンテンツ名の後ろ(※1)に数字1を記述します(1-ON、0-OFF)。シームレス再生を行うファイルは同一フォーマット、および同一パラメータでエンコードされている必要があります。異なったフォーマットのファイルの場合(例：MPEG-2トランスポートストリーム/プログラムストリーム)はシームレス再生を行いません。異なったパラメータのファイルの場合は、2つめ以降のファイル再生が正常に行われない恐れがあります。

※音量の設定について

HDMI-4100では再生時間にあわせて音量の設定が可能です。音量を指定するにはスケジュール定義ブロックのコンテンツ名の後ろ(※2)に50, 50(左, 右)のようにボリューム数値を記述する必要があります。ボリューム数値は0-50の範囲内で設定可能です。ボリューム数値の記述がない場合は既に設定されている値が適用されます。また、ボリューム数値の範囲内を超える数値を入力しないでください。



初期状態では ;Schedule の下のチャンネルが動作します (設定により変更可)。

注意

- ・コンテンツファイル名、コンテンツ名、チャンネル名は大文字と小文字が区別されます。
- ・コンテンツファイル名、コンテンツ名、チャンネル名に日本語(マルチバイト文字)を使用する場合はスケジュールファイルをUTF-8形式で作成してください。
- ・連続したスケジュールのコンテンツ名、リピートフラグ、音量設定が同一の場合には、一つのスケジュールとして処理されます。
- ・スケジュールファイル中の空行および'#'で始まる行は無視されます。
- ・時刻、リピートフラグ、コンテンツ名、シームレスフラグ、ボリューム値の区切りはTAB、もしくは半角スペースでなければなりません。
- ・スケジュールファイルは最大で10000行まで記述できます。
- ・1日のスケジュールの数は最大で1000件まで記述できます。

キーとチャンネル名の対応

チャンネル名「KEY1」～「KEY9」、「KEY0」は、リモコンボタン、USBキーボードを押したときに再生するスケジュールを記述するために使用します。チャンネル名（KEY1～KEY0）と入力するキーの対応は次のとおりです。

KEY1.....	リモコンボタン1、USB キーボード（テンキーの）	1
KEY2.....	リモコンボタン2、USB キーボード（テンキーの）	2
KEY3.....	リモコンボタン3、USB キーボード（テンキーの）	3
KEY4.....	リモコンボタン4、USB キーボード（テンキーの）	4
KEY5.....	リモコンボタン5、USB キーボード（テンキーの）	5
KEY6.....	リモコンボタン6、USB キーボード（テンキーの）	6
KEY7.....	リモコンボタン7、USB キーボード（テンキーの）	7
KEY8.....	リモコンボタン8、USB キーボード（テンキーの）	8
KEY9.....	リモコンボタン9、USB キーボード（テンキーの）	9
KEY0.....	リモコンボタン0、USB キーボード（テンキーの）	0

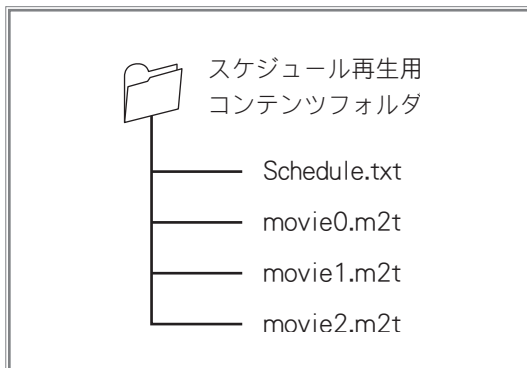
1-2 スケジュールファイルが不正な場合の動作

スケジュールファイルの書式にエラーがあった場合には、次のように動作します。

エラー	動作
コンテンツ定義ブロックで指定されたファイルがない場合	次のファイルが再生されます。
スケジュール定義ブロックで指定されたコンテンツがコンテンツ定義ブロックに見つからない場合	再生停止状態となります。
スケジュール定義ブロックの終了時刻が開始時刻より前の場合	そのスケジュールは無視されます。
同名のコンテンツ定義ブロックやスケジュール定義ブロックが複数ある場合	再生停止状態となります。
同名のコンテンツ名やチャンネル名が複数ある場合	再生停止状態となります。
スケジュールファイルが10000行をこえる場合	再生停止状態となります。
1日のスケジュールの数が1000件をこえる場合	再生停止状態となります。

1-3 スケジュール例

以下の例では次のようにコンテンツが格納されているものとします。



一つ以上のファイルを連続再生し続ける場合

```
;Contents  
HDMAContents  
  movie0.m2t  
  movie1.m2t
```

※スケジュールファイルがコンテンツ定義ブロックだけの場合、一番初めのコンテンツをリピート再生します。



毎日同じスケジュールで再生する場合

```
;Contents
HDMAContents0
    movie0.m2t
HDMAContents1
    movie1.m2t
HDMAContents2
    movie2.m2t
;Schedule
Channel1
*      ←スケジュールの日付にワイルドカードを指定
08:00:00  1  HDMAContents0  ← 8:00 ~ 12:00 まで再生
12:00:00  1  HDMAContents1  ← 12:00 ~ 19:00 まで再生
19:00:00  1  HDMAContents2  ← 19:00 ~ 21:00 まで再生
21:00:00                                ← 21:00 ~ 再生停止
```

※終了時刻を省略した場合、23:59:59が指定されたものとして扱います。

※時刻が重なっていた場合、下にあるものが使用されます。

※スケジュールにコンテンツ名が書かれていない場合、その間は再生を停止します。



深夜0:00をまたぐ場合

- 12/31 23:00~1/1 1:00までmovie0.m2tを繰り返し再生する場合

```
;Contents
HDMAContents0
    movie0.m2t
;Schedule
Channel1
2005/12/31
    23:00:00-23:59:59  1  HDMAContents0
2006/01/01
    00:00:00-00:59:59  1  HDMAContents0
```

※コンテンツ名とリピートフラグと音量(指定がある場合)が同じである必要があります。

- ・毎日23:00～1:00(25:00)までmovie0.m2tを繰り返し再生する場合

```
;Contents
HDMAContents0
    movie0.m2t
;Schedule
Channel1
*
    00:00:00-00:59:59    1    HDMAContents0
    23:00:00-23:59:59    1    HDMAContents0
```

※コンテンツ名とリピートフラグと音量(指定がある場合)が同じである必要があります。



特定の日時だけ違うスケジュールで再生する場合

```
;Contents
HDMAContents0
    movie0.m2t
HDMAContents1
    movie1.m2t
HDMAContents2
    movie2.m2t
;Schedule
Channel1
2006/01/15
    11:00:00-12:59:59    1    HDMAContents2
*
    ←上の日時以外は、下のスケジュールで再生
    00:00:00-11:59:59    1    HDMAContents0
    12:00:00-23:59:59    1    HDMAContents1
```



シリアル出力を利用する場合

```
;Default
SerialTermCode CR+LF

;Schedule
Default
    00:00:00    @SERIAL::10LightOn
    00:00:20    @SERIAL::10LightOff
```

※シリアル出力を利用する場合は、Webコンソールから[ローカル設定-シリアル制御設定-シリアル制御動作モード]の設定を[スケジューラで使用]に設定します。

※「出力開始時間 @SERIAL::」の後の文字列を行末までそのまま(空白文字を含む)出力します。

※出力するテキストの終端は、;DefaultのSerialTermCodeで指定(CR、LF、CR+LF、NON(終端コードなし)を指定可能、初期値:CR)します。



シリアル出力でバイナリデータを含む文字列を出力したい場合

- ・「<STX>PON<ETX>」(<STX>、<ETX>は制御コード)を出力する

```
;Default
SerialTermCode NON    ←終端コードは付けない
SerialDecode    1      ←デコードを有効にする
;Schedule
Default
    12:00:00    @SERIAL::%02PON%03
```

※ ' %xx' (XXは16進数2桁)と表記された場合、対応する1バイトを出力します。

※ ' %xx' のXXが16進数2桁でない場合、そのまま ' %xx' を出力します。

※ ' %' を出力する場合、' %25' と表記します。



音量を設定する場合

```
;Contents
HDMAContents
    movie.m2t
HDMAContents0
    movie0.m2t
HDMAContents1
    movie1.m2t
;Schedule
Default
*
    00:00:00-07:59:59  1    HDMAContents0      20, 20
    08:00:00-16:59:59  1    HDMAContents1      50, 50
    17:00:00-21:59:59  1    HDMAContents2
    22:00:00-23:59:59  1    HDMAContents2      30, 30
                                ↑ 時間に合せて音量設定
```



時間ごとに音量を設定する場合

```
;Schedule
Default
    00:00:00-11:59:59  1    ContentAM
    12:00:00-23:59:59  1    ContentPM    50, 50
    08:00:00    @COMMAND::Volume    40    ←左右ともに 40 に設定
    22:00:00    @COMMAND::Volume    30, 50 ←左を 30、右を 50 に設定
```

※上記の例では、音量設定が1日に3回(8時、12時、22時)実行されます。起動直後の音量は「デフォルト定義ブロック」で定義された音量、もしくは前回シャットダウン時の音量(デフォルト定義がない場合)となります。

- ・デフォルト定義ブロックで音量の初期値設定

```
;Default
Volume 40,40                                ←左右共に 40 に設定
```



電源を切る日時を設定する場合

```

;Contents
HDMAContents
    movie.m2t
;Schedule
Default
*
    00:00:00-07:59:59    1    @poweroff    ←時間に合せて電源を切る

```

※上記の例の場合、00:00:00にpower offが実行されます(時間範囲が指定されていた場合でも、先頭に記述されている時間(上記の場合は00:00:00)でpower offが実行されます)。



リモコン等により指定されたコンテンツを再生する場合

```

;Contents
HDMAContents
    movie0.m2t
HDMAContents0
    movie1.m2t
HDMAContents1
    movie2.m2t
;Schedule
Default
*    1    HDMAContents
KEY1
*    1    HDMAContents0    ←繰り返し再生
KEY2
*    0    HDMAContents1    ←再生終了後、Defaultスケジュールに戻る

```

※キーに対応したチャンネルのスケジュールが実行されます。

※スケジュールの中にキーに対応したチャンネルがない場合は、何も行いません。

※日付指定行なし、時刻指定が"*"、リピートフラグが0のときは、コンテンツの再生終了後、先頭のチャンネルのスケジュールを実行します。



シームレス再生の設定

```
;Contents
HDMAContents1 1 ←シームレス有り
    movie.m2t
    movie1.m2t
    movie2.m2t
HDMAContents0 0 ←シームレス無し
    movie1.m2t
    movie1.m2p
```

※シームレス再生の設定がない場合もシームレス再生を行います。



Chapter 6

- シリアル制御

1 シリアル制御

HDMA-4100をシリアル接続した機器からコントロールすることができます。HDMA-4100にはパイオニア株式会社製 LD、DVDにより互換性を高めたシリアル制御コマンドモード「Pioneer LD/DVD互換モード」、従来のHDMA-4000のシリアル制御コマンド「HDMA-4000(Ver.1.x互換)モード」をWebブラウザによる設定から選択することができます(Chapter 8参照)。

●接続

RS-232Cポートを備える機器とHDMA-4100をシリアルケーブルを使って接続します(PCと接続する場合はクロスケーブルを使用します)。

●通信設定

初期状態では9600bps、8bit、パリティなし、ストップビット1bitに設定されています。Webブラウザによる設定で変更可能です(Chapter 8参照)。

●コマンド

2文字、コマンドラインの最後は<CR>(0x0d)。

正常に接続および設定が行われている場合はR<CR>を、エラー時の場合はExx<CR>*を返します。

※xxにはエラー番号が表示されます。

一行に複数のコマンドを記述できます(最大255文字まで)。

また、コマンド制御はかならずコマンドのレスポンスが戻ってから次のコマンドを発行してください。

Webコンソールでネットワークシリアル制御を有効にするとネットワークから同一のコマンドで制御可能となります(設定されたポート(初期設定では12000)にtelnetなどのターミナル通信ソフトで接続してください)。

注意

シリアル制御モード使用時には、拡張子がm2p、m2t、m2ts、mts、mpgのファイルがコンテンツファイルとして認識されます。

注意

SMIL(smil)の再生はできません。

1-1 使用方法

1	シリアルポートをシリアル制御で使用するよう設定します。 Webコンソール起動→[ローカル設定-シリアル-シリアルポート機能]を"シリアル制御"に設定します。 ※[ローカル設定-シリアル]の他の項目もご使用の環境に合わせて適切に設定してください。
2	動作モードをシリアル制御モードに変更します。 Webコンソール起動→[ローカル設定-システム-起動時モード]を"シリアル制御"に設定します。 ※起動時モードが"シリアル制御"以外で動作中にコマンド"1P0"を実行してもシリアル制御モードへ切り替わります。
3	右上の[設定]をクリックします。[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[設定]ボタンをクリックします。 ※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。
4	再生したいコンテンツへコマンドTI,CH,SEを送信し、移動します。 ※タイトル2、チャプター3へ移動するには、T12SECH3SEを送信します。
5	コマンドPLを送信して再生を開始してください。
6	必要に応じてコマンドMSでリピートモードを設定します。

●シリアル制御モードの初期状態

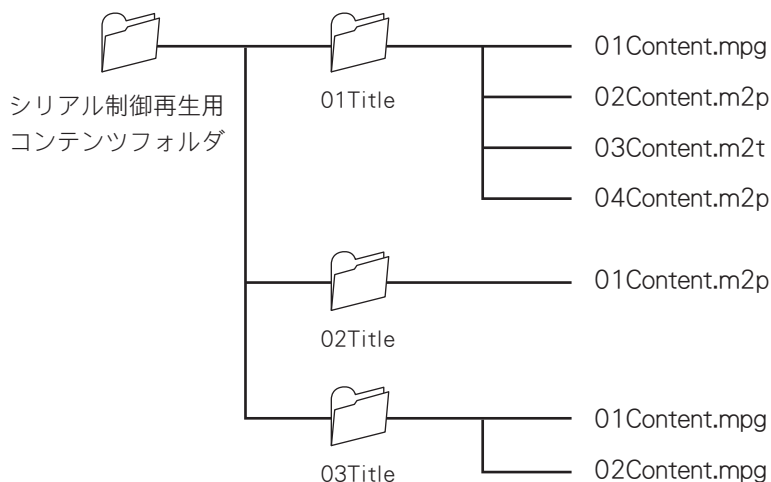
現在位置	タイトル1、チャプター1
アドレスモード	タイトル指定
リピートモード	リピートしない
動作モード	停止

1-2 コンテンツファイルの管理

一般的なDVD/LDプレイヤーのシリアルコントロールと互換性を保つため、アドレス指定モードにタイトル、チャプターなどを使用します。これらアドレスの値はDVD/LDで使用する値の意味とは異なり、HDD上のフォルダ構成と対応してタイトルナンバー、チャプターナンバーが決められます。

HDMA-4100では、コンテンツファイルはすべて、ある特定のフォルダ（シリアル制御再生用コンテンツフォルダ）下に配置します。シリアル制御再生用コンテンツフォルダには、任意のフォルダおよびコンテンツファイルを配置できます。

チャプターはコンテンツファイル一つ一つに対応し、タイトルはそれらのコンテンツファイルを複数個格納するフォルダに対応します。また、その順番は、タイトルの場合は対応するフォルダ名、チャプターの場合は対応するコンテンツファイル名のソート順になります。タイトル、およびチャプターの上限数は99です。



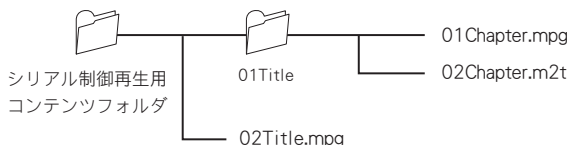
それぞれのアドレスモードに関する詳細を次ページに説明します。

タイトル

シリアル制御再生用コンテンツフォルダ下に置かれたフォルダ、もしくはコンテンツファイルを1タイトルとして扱います。フォルダの場合は、その中に含まれるコンテンツファイルの集まりを1タイトルとします。シリアル制御再生用コンテンツフォルダ下を名前順にソートし、ソートされた順番に1から番号を付け、タイトルナンバーとして扱います。

ヒント

以下のようなファイル構成の場合、タイトル1は"01Title"のフォルダになり、再生要求があった場合、"01Chapter.mpg"と"02Chapter.m2t"を再生します。タイトル2は"02Title.mpg"ファイルそのものになります。



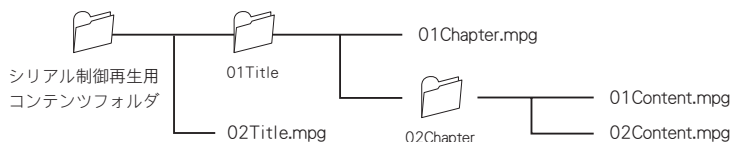
チャプター

タイトルのフォルダ下にあるコンテンツファイルを1チャプターとして扱います。また、タイトルのフォルダ下にある、フォルダも1チャプターとして扱います。タイトルのフォルダ下にあるファイルを名前でソートし、順番に1から番号をつけ、チャプターナンバーとして扱います。アドレス指定でチャプターナンバーを指定するには、必ずタイトルナンバーを設定してから行ってください。チャプターナンバーを指定して検索を行った場合、現在のタイトルの指定チャプター位置になります。

ヒント

以下のようなファイル構成の場合、タイトル1のチャプター1は "01Chapter.mpg" であり、タイトル1のチャプター2は "01Content.mpg" と "02Content.mpg" になります。

またタイトル2のチャプター1は "02Title.mpg" であり、タイトル2のチャプター2はありません。（サーチすればE12が返ります）



シームレス再生

Webコンソールでシームレス再生のON、OFFを設定できます。シームレス再生を設定することでコンテンツフォルダ以下のファイルすべてをシームレス再生します。シームレス再生されるのは連続再生のみで、コマンド入力によりコンテンツを移動した場合はシームレス再生されません。

シームレス再生を行うためにはファイルが同一のフォーマットおよび同一のパラメータでエンコードされている必要があり、異なったパラメータのファイルをシームレス再生すると、2つめ以降のファイル再生が正常に行われない場合があります。シームレス再生が行えないファイルを同時に使用する場合は、Webブラウザによる設定でシームレス再生を無効にしてください。

1-3 コマンド詳細 (Pioneer LD/DVD互換モード)

注 意

Pioneer LD/DVD互換モードは パイオニア株式会社製DVD-V8000マニュアルに基づいて作成されていますが、動作内容については同一ではありません。

対応コマンド一覧

(arg)RJ	HDDの回転および再生を停止する、引数は無視する
SA	HDDのスタート(このコマンドでスタートしなくても再生は可能)
(adrs)PL	現在位置から再生を開始する アドレス指定した場合、指定位置で停止する
PA	映像を表示した状態で静止する
ST	映像を表示した状態で静止する(PAと同じ)
adrs SE	指定したアドレス位置を表示した状態で静止する
adrs SL	指定したアドレス位置から再生を開始する
adrs SM	指定アドレスにストップマーカを設定する
CL	オートプレイモード、ストップマーカを解除する
FR	アドレスモードをフレームにする、ContentFrame.idxが無いとエラーを返す (ContentFrame.idxについてはp.87参照)
TM	アドレスモードをタイムにするContentTime.idxが無いとエラーを返す (ContentTime.idxについてはp.88参照)
CH	アドレスモードをチャプターにする
TI	アドレスモードをタイトルにする
arg AU	オーディオ設定(ミュートのみサポート) 0 ミュート 以外 ミュートオフ
arg AD	オーディオ設定(ミュートのみサポート)
arg KL	リモコンなどによる操作の可否設定 0 ロック解除 1 ロック 2 電源OFF無効
RM	リピートモードへ移行する

arg SK	チャプターを前後、先頭に移動する 1 次のチャプター 2 1つ前のチャプター 3 現在のチャプターの先頭	
?A	現在位置をまとめて返す 書式：TTCCMMMMSS TTタイトル番号2桁、CCチャプター番号2桁、MMMM,SS時間(非対応のため常に0)	
?R	現在位置のタイトルナンバーを返す 書式：TT チャプター番号2桁	
?C	現在位置のチャプターナンバーを返す 書式：CC チャプター番号2桁	
?Y	再生中のタイトルのフレームナンバーを返す	
WW	時間を設定する 書式：YYMMDDWWHHMMSS WW<CR> YYMMDDWWHHMMSS<CR> の形式で設定します	
arg MS	リピートモードを設定する	
	0MS	リピートしない(最後のタイトルで停止)
	8MS	チャプタを繰り返し再生
	16MS	タイトルを繰り返し再生
	24MS	すべてのタイトルを繰り返し再生
?P	現在のモードを返す 書式：PMM (MM 動作モード) P04 動画再生中 P05 一時停止中 P06 停止	
?X	機種名(HDMA-4100)を返す	
?W	時間を返す 書式：YYMMDDWWHHMMSS 年、月、日、曜日(月：00～日：06)、時、秒	
?S	リピートモードの設定を返す	
?E	最後に返したエラーコードを返す	
?Z	HDMA-4100のバージョンを返す	

※()で囲まれた個所は省略可能。省略した場合には既定値を使用します。

独自拡張コマンド一覧

S0	再生を停止する(黒画面にする)	
arg V0	argVO	音量を設定する
arg VL	argVL	VO=左右同じ、VL=左、VR=右
arg VR	argVR	0-50
arg P0	モードを制御する	
	0PO	シリアル制御モードを停止する。 起動時モードがシリアル制御以外に設定されている場合は、そのモードに切り替わる。
	1PO	シリアル制御モードを開始する。
(arg) P0FF	電源を切る(99P0FFは再起動する)	
CR	コンテンツルートフォルダを変更する シリアル制御コンテンツフォルダからの相対パスを""で囲んで指定する 動作モードは初期化される	
arg CD	コンテンツを検索するドライブを変更する	
	0	内蔵HDD
	1	USBドライブ
	2~5	ネットワークドライブ A~D
?0	ボリューム設定を返す 書式：LLRR LL 左音量、RR 右音量	
?L	コンテンツ数	
?U	同期リスト数(通信可能/全体数) ※HDMI-4100では(0/0になる)	
arg RX	拡張設定(各設定値の和を書き込む)	
	1	停止時に黒画面にする
	2	SEでファイルの先頭を表示しない
	4	CLでリピートモードをクリアしない
\$X	拡張設定の読み出し	
?I	IPアドレスを返す IPアドレスが設定されていないときはRを返す	

※()で囲まれた個所は省略可能。省略した場合には既定値を使用します。

※シリアル制御モード以外で動作中の場合、P0、?Iのみ有効です。

注意

1 行に複数のコマンドを記述した場合、レスポンスが戻る前に次のコマンドを送ると、まだ実行していないコマンドは無視されて次のコマンドが実行されます。この場合は<CR>を送ることで複数コマンドの実行を中断することができます。

シリアルコントロールの設定変更

特定のコマンドに対するHDMA-4100の動作を変更したい場合は[serial]フォルダに以下のような設定ファイル[psctl.conf]を使用し、HDMA-4100を再起動してください。

●psctl.confの例

```
[Pioneer]
stop_mode=0
se_mode=0
play_sm=0
po_every=0
clrm_mode=0
```

stop_mode	0 停止時に最後の画像を表示した状態で停止する 1 黒画面で停止する
se_mode	0 adrsSEコマンド実行時に最初の画像を表示した状態で停止する 1 adrsSEコマンド実行時に黒画面で停止する(内部では再生を開始しない)
clrm_mode	0 CLコマンドでリピートモードをクリアする 1 CLコマンドでリピートモードをクリアしない
play_sm	0 adrsPLの場合、停止するまで"R"を返さない 1 adrsPLの場合も即座に"R"を返す
po_every	0 0PO/1POで、現在の状態と同じなら"R"だけを返す 1 0PO/1POで、現在の状態に関わらず変更処理を行う
drive_ext	0 USBドライブやネットワークドライブを使用する場合、ドライブのroot(/)を使用 1 USBドライブやネットワークドライブを使用する場合、ドライブの/serialを使用
cmdqi_ext	0 ?!コマンドでIPアドレスを返す 1 エラーになる

※設定を記述しない場合は常に0が設定されます

エラーコード

E00.....	通信エラー
E04.....	使用できない機能
E06.....	正しいパラメータが指定されていない
E11.....	ディスクが装填されていない
E12.....	サーチアドレスが見つけられない
E15.....	ピクチャーストップ
E16.....	コマンド実行中にキーやリモコン、外部からの制御があった
E99.....	致命的なエラーが発生した
R.....	正常に通信が完了した(値を返さないコマンドの場合の応答)

フレーム、時間単位での制御について

Pioneer製のLDプレイヤーのシリアル制御では、再生開始位置を、ディスク上のフレームやタイムコードで指定する場合があります。

HDMA-4100ではコンテンツのフレームを登録したファイル「ContentFrame.idx」や、タイムコードを登録したファイル「ContentTime.idx」を作成してコンテンツとともに[serial]フォルダに配置することで、対応コマンドFRおよびTMが有効となり、コンテンツのフレームやタイムコードでのサーチおよび再生が可能となります。

※「ContentFrame.idx」および「ContentTime.idx」に記述されたコンテンツ名が存在しない場合は、フレームおよびタイムコード単位での制御コマンドはすべてエラーとなります。

●FRコマンド

FRコマンドを利用する場合は、[serial]フォルダに「ContentFrame.idx」を用意します。「ContentFrame.idx」ファイルの書式は次のとおりです。

フレーム番号 [TAB] ファイル名,0

※[TAB]は、タブ文字を表します。

※ファイル名の後に、必ず「,0」を記述してください。

例えば、複数のコンテンツを1枚のレーザーディスク上の連続したフレームに見立て、シリアル制御で次のような再生を行う場合は以下のように記述します。

FR	# フレーム指定モードに変更
1SE	# 1フレームを表示
1000PL	#1000 フレームまで再生して停止
1001SE	#1001 フレームを表示
2000PL	#2000 フレームまで再生して停止
2501SE	#2501 フレームを表示
2800PL	#2800 フレームまで再生して停止



ContentFrame.idx 記述例

1	file-01.m2t,0
1000	file-01_stop.m2t,0
1001	file-02.m2t,0
2000	file-02_stop.m2t,0
2501	file-03.m2t,0
2800	file-03_stop.m2t,0

フレーム番号

ファイル名,0

※シリアル制御では、コンテンツはファイル名の昇順に再生されるため、フレーム番号も、コンテンツをファイル名の昇順で並べた順番と矛盾しないように割り振ってください。

また、上記の例では、次の6つのコンテンツファイルを[serial]フォルダに用意しておく必要があります。

file-01.m2t	#1 ~ 1000 フレームに相当するコンテンツ
file-02.m2t	#1001 ~ 2000 フレームに相当するコンテンツ
file-03.m2t	#2501 ~ 2800 フレームに相当するコンテンツ
file-01_stop.m2t	# 停止フレーム指定用のダミーファイル 1
file-02_stop.m2t	# 停止フレーム指定用のダミーファイル 2
file-03_stop.m2t	# 停止フレーム指定用のダミーファイル 3

※停止フレーム指定用のダミーファイルとして、任意のMPEG-2ファイルを用意してください（上記の例では3つ）。

●TMコマンド

TMコマンドを利用する場合は、[serial]フォルダに「ContentTime.idx」を用意します。「ContentTime.idx」ファイルの書式は次のとおりです。

タイムコード [TAB] ファイル名,0

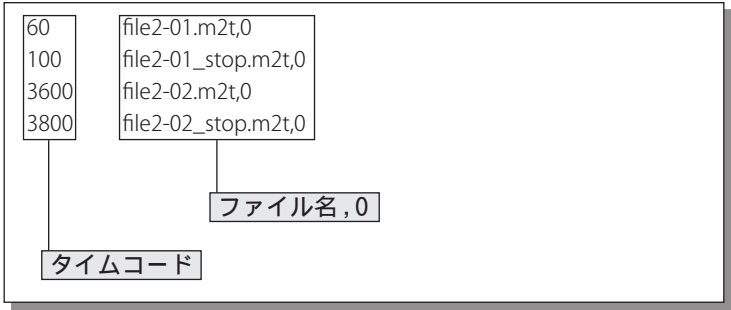
- ※[TAB]は、タブ文字を表します。
- ※ファイル名の後に、必ず「,0」を記述してください。

例えば、複数のコンテンツを1枚のレーザーディスク上の連続したフレームに見立て、シリアル制御で次のような再生を行う場合は以下のように記述します。

TM	# タイム指定モードに変更
60SE	# 60 秒に対応するフレームを表示
100PL	# 100 秒に対応するフレームまで再生して停止
3600SE	#3600 秒に対応するフレームを表示
3800PL	#3800 秒に対応するフレームまで再生して停止



ContentTime.idx 記述例



※シリアル制御では、コンテンツはファイル名の昇順に再生されるため、フレーム番号も、コンテンツをファイル名の昇順で並べた順番と矛盾ないように割り振ってください。

また、上記の例では、次の4つのコンテンツファイルをserialフォルダに用意しておく必要があります。

file2-01.m2t	# 60 ～ 100 秒に相当するコンテンツ
file2-02.m2t	#3600 ～ 3800 秒に相当するコンテンツ
file2-01_stop.m2t	# 停止位置指定用のダミーファイル 1
file2-02_stop.m2t	# 停止位置指定用のダミーファイル 2

※停止位置指定用のダミーファイルとして、任意のMPEG-2ファイルを用意してください（上記の例では2つ）。

1-4 コマンド詳細 (HDMA-4000 Ver. 1.X互換モード)

このモードは、既にHDMA-4000を所持しており、Ver.1を想定して作られた装置を使用する場合のみ使用してください。通常はPioneer LD/DVD互換を使用してください。

対応コマンド一覧

(adrs)PL	現在位置から再生を開始する アドレス指定した場合、指定位置で停止する	
ST	映像を表示した状態で静止する	
adrs SE	指定したアドレス位置を表示した状態で静止する	
adrs SL	指定したアドレス位置から再生を開始する	
CH	アドレスモードをチャプターにする	
TI	アドレスモードをタイトルにする	
arg AD	オーディオ設定(ミュートのみサポート)	
?A	現在位置をまとめて返す 書式:TTCCMMMMSS TTタイトル番号2桁、CCチャプター番号2桁、MMMM,SS 時間(非対応のため常に0)	
?R	現在位置のタイトルナンバーを返す 書式:TT チャプター番号2桁	
?C	現在位置のチャプターナンバーを返す 書式:CC チャプター番号2桁	
arg MS	0MS	リピートしない(最後のタイトルで停止)
	8MS	チャプターを繰り返し再生
	16MS	タイトルを繰り返し再生
	24MS	すべてのタイトルを繰り返し再生
?P	プレイヤーの現在の動作モードを返す 書式:PMM (MM 動作モード) P04 動画再生中 P05 一時停止 P06 停止	
?S	リピートモードの設定を返す	
S0	再生を停止する(黒画面にする)	

arg VO	argVO	音量を設定する
arg VL	argVL	VO=左右同じ、VL=左、VR=右
arg VR	argVR	0-50
(arg) P0	モードを制御する	
	0PO	シリアル制御モードを停止する。 起動時モードがシリアル制御以外に設定されている場合は、 そのモードに切り替わる。
	1PO	シリアル制御モードを開始する。
POFF	HDMA-4100の電源を切る	
"dir"CR	コンテンツを検索するフォルダを変更する シリアル制御コンテンツフォルダからの相対パスを""で囲んで指定する 動作モードは初期化される	
arg CD	コンテンツを検索するドライブを変更する 0 内蔵HDD 1 USBドライブ 2～5 ネットワークドライブ A～D	
?0	ボリューム設定を返す 書式:LLRR LL 左音量 RR 右音量	
?I	IPアドレスを返す IPアドレスが設定されていないときはRを返す	

※()で囲まれた箇所は省略可能。省略した場合には既定値を使用します。

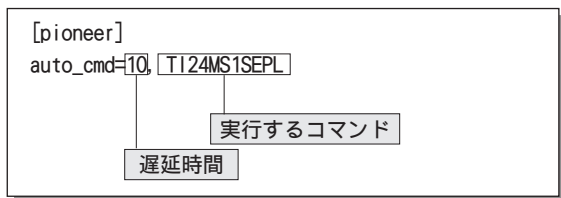
※スケジュール再生モードではP0、POFF、?Iのみ有効です。

エラーコード

E00	通信エラー
E04	使用できない機能
E06	正しいパラメータが指定されていない
E12	サーチアドレスが見つけられない
E99	致命的なエラーが発生した
R	正常に通信が完了した(値を返さないコマンドの場合の応答)

1-5 シリアルコマンドの自動実行

シリアル制御モードで起動時に自動的にシリアルコマンドを実行できます。[serial]フォルダに設定ファイル[psctl.conf]を以下のように記述します。システム起動後、遅延時間が過ぎると記述したコマンドを実行します。



遅延時間： 起動後の遅延時間を指定します。(単位は秒)
同期再生などで、マスターとスレーブの起動時間の差を吸収するために遅延時間を利用します。

実行するコマンド：自動で発行されるシリアル制御コマンドを指定します。



Chapter 7

この章では、VODモードについて説明します。

- VODモードについて
- VODモードの設定
- リモコン（オプション）

1 VODモードについて

VODモードは、オプションのリモコンを使用して、内蔵HDDや接続されたMEDIAEDGE-SVS4内のコンテンツを表示、選択するモードです。HDMA-4100のVODモードには以下の2つの動作モードがあります。

●メニューモード

メニュー画面の中から見たいコンテンツを選択し、再生します。メニューはHDMA-4100内蔵HDDのメニュー、もしくはMEDIAEDGE-SVS4がインストールされているコンピュータのWebサーバーから取得したページを使用します。コンテンツの再生が終わると再びメニュー画面が表示されます。

●チャンネルモード

メニュー画面は表示されず、テレビのチャンネル切り替えのようにリモコンの数字ボタンでコンテンツを選択します。チャンネル番号は1～99までです。コンテンツ（チャンネル）が何も選ばれていない時や、選んだコンテンツの再生終了後は「デフォルトコンテンツ」と呼ばれる映像が自動的に再生されます。チャンネルモードでは、チャンネル番号とコンテンツ（RTSP URL）との対応付けをあらかじめ決めておく必要があります。

2 VODモードの設定

2-1 HDMA-4100をメニューモードに設定する

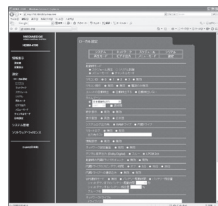
メニューモードを使用する場合は以下の手順で設定を行います。
本文記載のリモコンはオプション製品となります。

1 設定用コンピュータを操作してWebブラウザを起動し、HDMA-4100 Webコンソールを開きます。
[アドレス]にHDMA-4100のIPアドレスを入力してください。(例：http://192.168.0.20)

2 HDMA-4100 Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。

3 [ローカル設定 - システム]をクリックしてHDMA-4100の各種動作パラメータ設定画面を表示します。

4 [起動時モード]の[メニューモード]を選択します。
HDMA-4100がメニューモードに設定されます。
※工場出荷時は、ローカルメニューが表示されます。

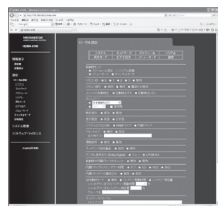


5 左側のウィンドウで[メニューモード]を選択し、[ホームURL]欄にメニューページのURLを指定します。

例:

ローカルメニュー(内蔵HDD)を表示する場合：
空白(ブランク)

MEDIAEDGE-STB4のメニューを表示する場合：
http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp



- 6** 右上の[設定]をクリックします。[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[設定]ボタンをクリックします。

※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

2-2 HDMA-4100をチャンネルモードに設定する

チャンネルモードを使用する場合は以下の手順で設定を行います。

- 1** 設定用コンピュータを操作してWebブラウザを起動し、HDMA-4100 Webコンソールを開きます。
[アドレス]にHDMA-4100のIPアドレスを入力してください。(例：http://192.168.0.20)

- 2** HDMA-4100 Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。

- 3** [ローカル設定 - システム]をクリックしてHDMA-4100の各種動作パラメータ設定画面を表示します。

- 4** [起動時モード]の[チャンネルモード]を選択します。
HDMA-4100がチャンネルモードに設定されます。
※デフォルトコンテンツに設定されたコンテンツの再生を開始します。



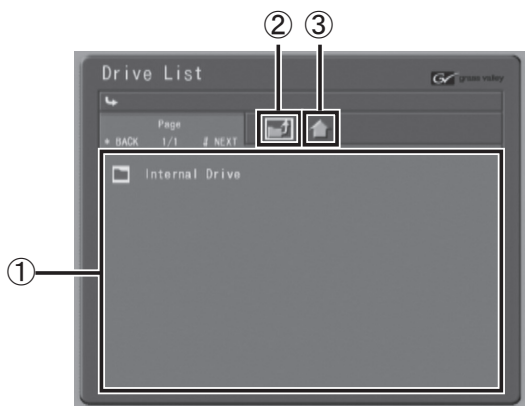
- 5** 左側のウィンドウで[チャンネルモード]をクリックし、[デフォルトコンテンツ]でデフォルトコンテンツ、[チャンネル設定]で各チャンネルを設定します。

6

右上の[設定]をクリックします。[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[設定]ボタンをクリックします。

※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

2-3 ローカルメニュー画面の構成



①フォルダ/コンテンツエリア

フォルダおよびコンテンツを表示します。

- ・リモコンの ボタンで項目を選択します。
- ・リモコンの ボタンで選択内容を確定します。
- ・リモコンの ボタンでホームメニューを表示します。
- ・リモコンの ボタンで次のページ(履歴)を表示します。
- ・リモコンの ボタンで前のページ(履歴)を表示します。
- ・リモコンの ボタンで現在のページを再読込(リロード)します。
- ・リモコンの ボタンで前のページを表示します([* BACK]を選択したときと同じ動作を行います)。
- ・リモコンの ボタンで次のページを表示します([# NEXT]を選択したときと同じ動作を行います)。

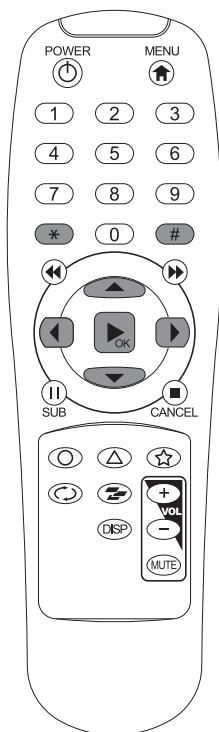
②[上位フォルダへ移動]ボタン

上の階層へ移動します。

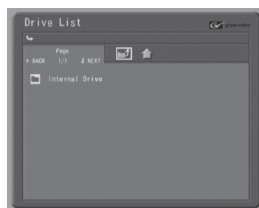
③[Home]ボタン

ローカルメニューのホームへ移動します。

ローカルメニューで選択する



- 1** ローカルメニューが表示されていることを確認します。表示したいフォルダを選択し、 ボタンを押してください。



2-4 メニュー画面の構成

MEDIAEDGEサーバー接続時はMEDIAEDGE-STB4のメニュー画面が表示されます。

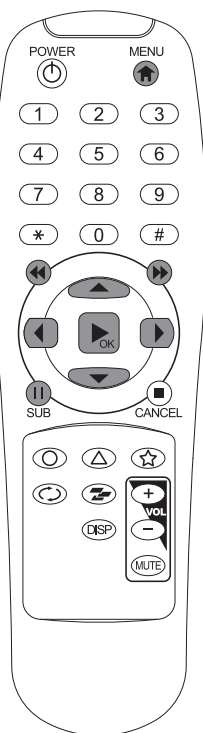


①タイトル/データエリア

タイトルおよびメニューを表示します。

- ・リモコンの   ボタンで項目を選択します。
- ・リモコンの  ボタンで選択内容を確定します。
- ・リモコンの  ボタンでホームメニューを表示します。
- ・リモコンの  ボタンで次のページ(履歴)を表示します。
- ・リモコンの  ボタンで前のページ(履歴)を表示します。
- ・リモコンの  ボタンで現在のページを再読込(リロード)します。

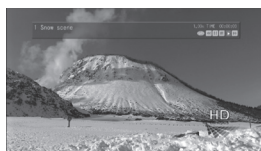
コンテンツを再生する



- 1** メニュー画面が表示されていることを確認し、再生したいコンテンツを選択してリモコンの ボタンを押してください。
ここでは「サンプルコンテンツ(HD)」の「雪化粧」を選択しています。



- 2** 選択したコンテンツが再生されます。



注意

リモコンを使用して、次の操作を行うことができます。

- ⏏ ボタン 再生中のコンテンツを一時停止します。
- ⏮ ボタン コンテンツの再生を後方ジャンプします。
- ⏭ ボタン コンテンツの再生を前方ジャンプします。
- ⏪ ボタン 再生速度を遅くします。
- ⏩ ボタン 再生速度を早くします。

※ ⏪ ⏩ ボタンはコンテンツやサーバー側の設定により、使用できない場合があります。

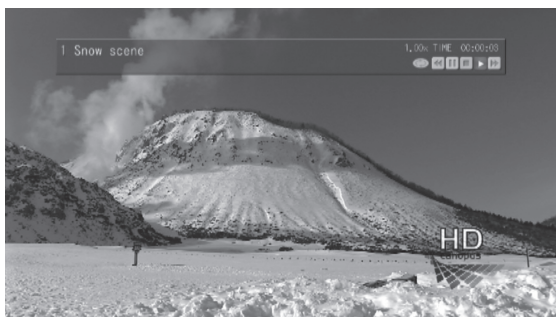
- 3** 再生中のコンテンツを停止する場合はリモコンの ボタンを押してください。
コンテンツが停止します。

注意

リモコンの ボタンを押すとコンテンツの停止後、ホームメニューを表示します。

2-5 チャンネルモード

チャンネルモードとはメニューを使用しないモードで、メニュー画面は表示されません。TVのチャンネルを切り替えるのと同様に再生したいコンテンツをリモコンの数字ボタンで選択します。デフォルトコンテンツと合わせて100個のコンテンツを扱うことができます

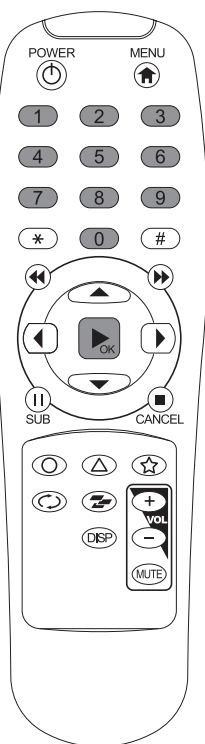


2-6 デフォルトコンテンツについて

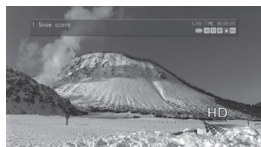
チャンネルモードで起動した際に最初に表示されるコンテンツをデフォルトコンテンツと呼び、動画または黒画面が表示されます。以下の操作を行うことでもデフォルトコンテンツの再生が行えます。

- コンテンツの再生が終了する。
- リモコンの  ボタンを押す。
- リモコンの  ボタンを押す。

2-7 コンテンツを再生する～数字番号の指定～



- 1** リモコンの数字ボタンを押してください。
コンテンツが切り替わります。

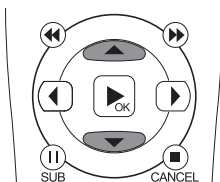
**注意**

コンテンツ番号を入力する場合は2桁の数字で入力してください。

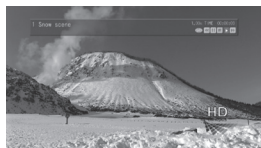
- ・「1」を入力する場合→「01」
- ・「11」を入力する場合→「11」

また、1桁の数字の場合、数字を直接入力し、「再生」ボタンを押します。または数字入力後、しばらくすると自動的にコンテンツが切り替わります。

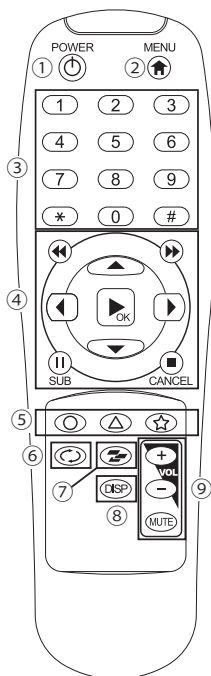
2-8 コンテンツを番号順に再生する



- 1** コンテンツ再生中にリモコンの   ボタンを押してください。
有効な番号のコンテンツが再生されます。



3 リモコン (オプション)



- ①POWERボタン 起動/終了します。
- ②MENUボタン メニューモードで動作中は、メニュー画面を表示します。
チャンネルモードで動作中は、デフォルトチャンネルを表示します。
- ③数字ボタン コンテンツ呼び出しや数字入力に使用します。
- ④ナビゲーションボタン コンテンツ再生やメニューの選択に使用します。
- ⑤ファンクションボタン システム情報を表示します。
△ ボタン以外は使用しません。
- ⑥リピートボタン リピートのON/OFFに使用します。
ローカルメニューでは使用できません。
- ⑦プレイモードボタン 使用しません。
- ⑧ディスプレイボタン 再生中のプレイインフォの表示/非表示の切り替えに使用します。
- ⑨ボリュームボタン 音量の調節に使用します。



Chapter 8

- Webブラウザによる設定
- ファームウェアのアップデート
- メンテナンスモード

1 Webブラウザによる設定

1-1 HDMA-4100 Webコンソールの呼び出し

HDMA-4100と同一ネットワーク上にあるPCを使います。Webブラウザを起動し、設定対象となるHDMA-4100 Webコンソールを呼び出します。

例) IPアドレスが192. 168. 0. 20である場合、次のようにURLを入力します。

`http://192. 168. 0. 20/`

HDMA-4100 Webコンソールを起動すると英語画面が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックして日本語表示に切り替えてください。

1-2 準備と起動

必要なシステム

Internet Explorer 7(IE7)で動作確認をしています。

PCの設定

設定に使用するPCは設定を行いたいHDMA-4100と同一ネットワーク上に存在する必要があります。また、PCのネットワーク設定を、HDMA-4100を設置したネットワーク環境に適合する形に設定する必要があります。

DHCP	パソコンのIPアドレスを自動取得する設定にしてください。
Auto IP	パソコンのIPアドレスを自動取得する設定にしてください。 Windows XPはDHCPサーバーが存在しない場合、自動的にAutoIPによるアドレスが割り当てられます。
Manual	IPアドレスとサブネットマスクを接続するネットワークにあわせて設定してください。

Webコンソールの起動

Webコンソールを起動するには、設定を行いたいHDMA-4100のIPアドレスをWebブラウザのアドレスバーに入力してください。

設定パスワード

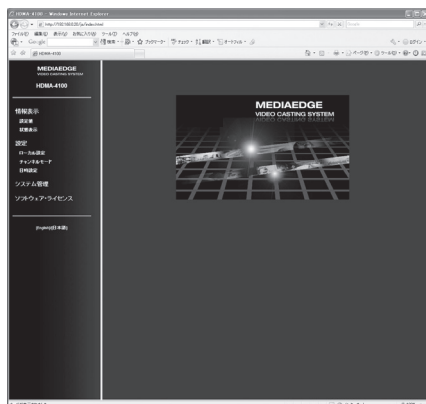
Webコンソールで設定の変更を行う場合は、ユーザーIDとパスワードが必要です。工場出荷時のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名	admin
パスワード	なし(設定されていません)

ユーザー名およびパスワードは変更できます。

1-3 HDMA-4100 トップページ

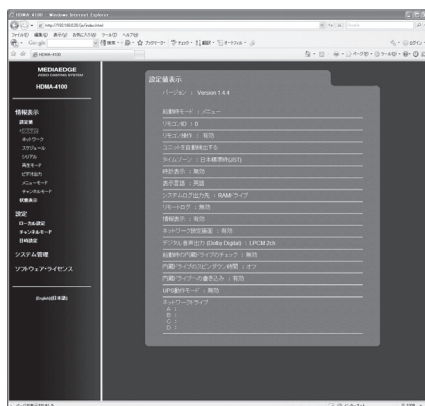
Webコンソールを起動して表示されるトップページには、次の項目が表示されています。



情報表示	[設定値]、[状態表示]ページへのリンクで構成されています。各ページでは、ファームウェアのバージョンや動作中の設定値を表示します。
設定	[ローカル設定]、[チャンネルモード]、[一括設定]、[日時設定]ページへのリンクがあります。HDMA-4100本体に保存されているローカル設定の変更や、チャンネルモードの設定、一括設定ファイルによる設定値の自動設定、日時の設定を行うことができます。
システム管理	[内蔵HDD]、[再起動、停止]、[設定初期化]、[ファームウェア更新]、[情報の取得]、[フォントのインストール]、[ユーザー名・パスワード変更]ページへのリンクがあります。
ソフトウェア・ライセンス	本システムで使用しているソフトウェア・ライセンス表示ページへのリンクがあります。

情報表示-設定値

「システム」、「ネットワーク」、「スケジュール」、「シリアル」、「再生モード」、「ビデオ出力」、「メニューモード」、「チャンネルモード」ページで構成されます。各ページに、現在のファームウェアバージョンが表示されています。



●システム

起動時モード	起動時の動作モードを表示します。
リモコンID	リモコンIDを表示します。
リモコン操作	リモコン操作の設定状況を表示します。
ユニットを自動検出する	ネットワーク内のユニットの自動検出設定状況を表示します。
タイムゾーン	タイムゾーンを使用するエリアもしくは時差を表示します。
時計表示	画面に日時を表示する機能の有効/無効を表示します。
表示言語	HDMA-4100で画面に表示する言語を表示します。
システムログ出力先	システムログの出力先を表示します。
リモートログ	リモートログの設定を表示します。
情報表示	画面にシステム情報を表示する機能の有効/無効の設定を表示します。
ネットワーク設定画面	リモコンの  ボタンで起動する「Network settings」の有効/無効の設定を表示します。

タッチスクリーン キャリブレーション	本製品では使用しません。
デジタル音声出力 (Dolby Digital)	デジタルオーディオ出力の設定を表示します。
音量	AUDIO OUT、HDMI端子から出力される音量を表示します。
起動時の内蔵ドライ ブのチェック	HDMA-4100起動時の内蔵HDDチェックの設定状況を表示しま す。
内蔵ドライブの スピンドウン時間	HDMA-4100内蔵HDDのスピンドウン時間を表示します。
内蔵ドライブへの 書き込み	HDMA-4100内蔵ドライブへの書き込み設定状況を表示しま す。
UPS動作モード	UPS動作モードの使用状況および設定状況を表示し ます。
ネットワークドラ イブ	ネットワークドライブ使用時の設定状況を表示します。

●ネットワーク

IPv6	IPv6の有効/無効、IPv6アドレスの設定状況を表示します。
有線ネットワークの設定	
ネットワークモー ド(IPv4のみ)	現在のネットワーク設定「DHCPを使用する」「Auto IPを使用 する」「次のIPアドレスを使う」のいずれかが表示されます。
IPアドレス (IPv4のみ)	現在のIPアドレス設定を表示します。
サブネットマスク (IPv4のみ)	サブネットマスクのアドレスを表示します。
デフォルトゲート ウェイ(IPv4のみ)	デフォルトゲートウェイのアドレスを表示します。
DNSサーバー設定	現在のDNSサーバー設定を表示します。
優先DNSサーバー	優先DNSサーバーのアドレスを表示します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバーのアドレスを表示します。
DNSドメイン名	現在のDNSドメイン名を表示します。

無線ネットワークの設定	
ネットワークモード(IPv4のみ)	現在のネットワーク設定「DHCPを使用する」「Auto IPを使用する」「次のIPアドレスを使う」のいずれかが表示されます。
IPアドレス (IPv4のみ)	現在のIPアドレス設定を表示します。
サブネットマスク (IPv4のみ)	サブネットマスクのアドレスを表示します。
デフォルトゲートウェイ(IPv4のみ)	デフォルトゲートウェイのアドレスを表示します。
DNSサーバー設定	現在のDNSサーバー設定を表示します。
優先DNSサーバー	優先DNSサーバーのアドレスを表示します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバーのアドレスを表示します。
DNSドメイン名	現在のDNSドメイン名を表示します。
SSID	接続アクセスポイントの識別子を表示します。
セキュリティ	現在のセキュリティ暗号化方式を表示します。
優先ネットワーク	優先するネットワークインターフェースを表示します。

NTPサーバー	NTP(Network Time Protocol)サーバーを使用した時刻補正の使用/不使用の設定および更新間隔を表示します。
ホスト名	ホスト名を表示します。
DHCPによる自動設定・更新	MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用した、DHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新の設定を表示します。
SNMP	SNMP(Simple Network Management Protocol)の設定状況を表示します。
Samba共有	HDMA-4100内蔵HDDのファイル共有状態を表示します。

DGCP	DGCP(Device Group Control Protocol)に関する設定を表示します。 ポート番号： DGCPで使用するポート番号を表示します。 マルチキャストアドレス： DGCPで使用するマルチキャストアドレスを表示します。 グループID： 所属するグループのグループIDを表示します。 認証： 認証方法を表示します。 リモコン処理： リモコン操作を受信した時の動作を表示します。
バッファリング時間	ストリーム再生時のバッファリング時間(映像遅延時間)の設定状況を表示します。
FEC	FEC(Forward Error Correction)の設定状況を表示します。
RTSPキープアライブ	RTSPキープアライブの有効/無効を表示します。
RTSPキープアライブ失敗時の再接続	RTSPキープアライブ失敗時の再接続の有効/無効を表示します。
RTSPエラー時のリトライ動作	RTSP接続リトライ設定の有効/無効を表示します。

●スケジュール

コンテンツドライブ	スケジュール再生時のデフォルトコンテンツドライブ設定を表示します。
スケジュールファイル	スケジュールファイル名を表示します。
チャンネル	デフォルトチャンネル名を表示します。
フィルターファイル	フィルターとして再生する動画ファイル名を表示します。
エラー発生時にフィルターを再生	エラーが発生した場合のフィルター再生の有効/無効を表示します。
空き時間にフィルターを再生	スケジュールが空の時間帯のフィルター再生の有効/無効を表示します。

●シリアル

シリアルポート機能	シリアルポート機能の設定状況を表示します。
共通の設定	
通信速度	シリアルポートの通信速度を表示します
データビット長	シリアルポートのデータビット長を表示します。
パリティ	シリアルポートのパリティ設定を表示します。
ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を表示します。
フロー制御	フロー制御設定を表示します。
リモートシリアル独自の設定	
リモートシリアル	リモートシリアル機能を表示します。
固定接続先ホスト名またはIPアドレス	リモートシリアルのホストコンピュータのホスト名またはIPアドレスを表示します。
接続先ポート番号	リモートシリアルのホストコンピュータのポート番号を表示します。
待機ポート番号	シリアルコマンドの送受信に使用するポート番号を表示します。
プロトコル	通信プロトコルを表示します。
ログ出力	ログ出力の有効/無効を表示します。
シリアル制御独自の設定	
コンテンツドライブ	シリアル制御のデフォルトコンテンツドライブ設定を表示します。
シームレス	再生シームレス再生設定状況を表示します。
ネットワークシリアル制御	ネットワークシリアル制御状況を表示します。
シリアル制御動作モード	現在設定中のシリアル制御動作モードを表示します。
再生開始コマンド(PL)から再生開始までの遅れ	PLコマンドを発行後にHDMA-4100で再生が開始されるまでの時間を表示します。

●再生モード

シーク後の映像表示	SEコマンドSLコマンドなどでファイルを停止する場合の停止位置の設定状況を表示します。
複数台同期モード	現在の同期モード設定を表示します。

●ビデオ出力

表示モード	出力モードを表示します。
色空間(HDMI)	HDMI出力時の色空間の設定を表示します。
RGB出力レンジ(HDMI)	HDMI端子からのRGB出力レンジの設定を表示します。
ストリーム色空間の強制設定	ストリーム色空間の強制設定の設定状況を表示します。
モニタアスペクト	アスペクト設定を表示します。
4:3モニタへ映すときのモード	モニタアスペクト比が4:3の場合の表示方法を表示します。
OSD色深度	OSDの色深度の設定を表示します。
OSD背景色(RRGGBB)	OSDの背景色の設定を16進数で表示します。
ストリームが途絶えた時の表示	ビデオリージョンの設定状態を表示します。
クローズドキャプション	クローズドキャプションの有効/無効を表示します。

●メニューモード

ホームURL	ホームURLを表示します。未設定の場合には、ローカルメニューが使用されます。
アイドルモード	アイドルモードの有効/無効を表示します。
アイドル時間	アイドル時間を表示します。
表示コンテンツ	アイドル時間経過後に表示するコンテンツを表示します。
飛び先ページ	表示コンテンツ停止後に表示するページを表示します。
OSD表示モード	OSDモードの設定を表示します。
OSD表示時間	OSD表示モードが自動のときのOSD表示時間を表示します。

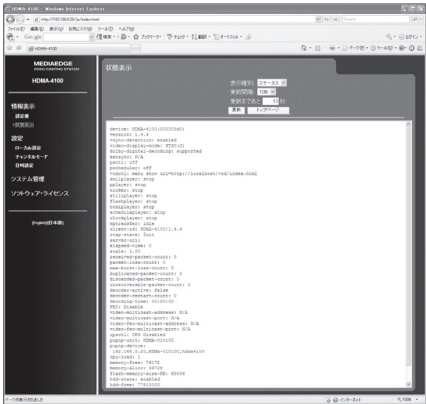
ジャンプ時間	コンテンツ再生中にリモコンの ⏮/⏭ ボタンを押したときのジャンプ時間を表示します。
エラーポップアップ表示	ポップアップ表示の動作を表示します。
ローカルメニュー表示順序	ローカルメニュー表示順序を表示します。
ローカルメニュールートディレクトリ設定	ローカルメニューのルートディレクトリ設定を表示します。
ローカルメニュー表示対象コンテンツ	ローカルメニューの表示対象コンテンツを表示します。

●チャンネルモード

デフォルトコンテンツURL	デフォルトコンテンツのURLを表示します。デフォルトコンテンツが設定されていない場合には、何も表示されません。設定したタイトルとURLを99個まで登録できます。
チャンネル設定	設定されているチャンネルのタイトルとURLを表示します。

情報表示・状態表示

HDMA-4100の内部ステータスおよび各種ログを表示します。



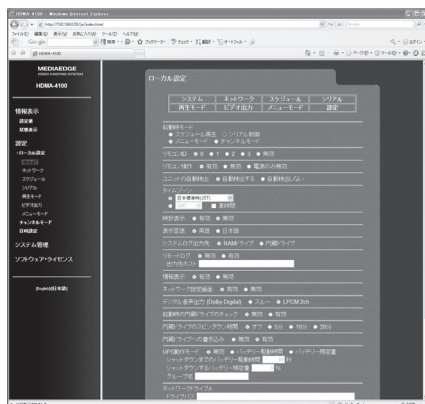
表示種別	ログの種類を[ステータス]、[動作ログ]、[再生ログ]、[転送ログ]の項目から選択して表示します。
更新間隔	ログの更新間隔を指定します。動作ログ選択時のみ手動更新となります。
更新まであと	ログ更新までカウントダウンします。

設定 - ローカル設定

ローカル設定画面ではシステムに保存されているローカル設定を変更します。設定内容を保存する場合、右上の[設定]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。

*ユーザー名は、工場出荷時はadminに設定されています。

*パスワードは、工場出荷時は設定されていません。



●システム

起動時モード	HDMA-4100起動時のモードをスケジュール再生/シリアル制御/メニューモード/チャンネルモードから選択します。起動後はシリアル制御機器からのコマンド("argPO")で動作モードを変更することができます。
リモコンID	HDMA-4100が操作を受け付けるリモコンのIDを設定します。「無効」にするとリモコン操作を受け付けません。送信機のリモコンIDの設定方法は本書『Appendix』を参照してください。
リモコン操作	リモコン操作の有効/無効の切り替えおよび電源のみ無効を設定します。電源のみ無効を選択時、リモコンの[POWER]ボタンによるPower OFFが無効となります。
ユニットの自動検出	同一ネットワーク内のユニットを自動的に検出するかを設定します。[自動検出する]を選択した場合、定期的にネットワーク上にパケットを流すためトラフィックが増加します。自動検出はSSDP(Simple Service Discovery Protocol)で行います。

タイムゾーン	世界の地域別標準時間帯に関する設定を行います。 NTPを使用する際にはタイムゾーンが正しく設定されている必要があります。
時計表示	現在時刻の表示/非表示の切り替えを行います。
表示言語	HDMA-4100で表示する言語を設定します。
システムログ 出力先	システムログの保存先を設定します。 RAMドライブ、もしくは内蔵ドライブから保存先を選択します。
リモートログ	リモートログ出力の有効/無効を設定します。有効の場合は出力先ホスト(ホスト名またはIPアドレス)を設定します。
情報表示	画面にシステム情報を表示する機能の有効/無効を設定します。
タッチスクリーン キャリブレーション	本製品では使用しません。
ネットワーク設定 画面	起動時にリモコンの  ボタンで表示できる「Network settings」画面の有効/無効を設定します。
デジタル音声出力 (Dolby Digital)	Dolby Digital 音声をデジタル出力(S/PDIF, HDMI)する際の処理を設定します。 スルー: Dolby Digital 音声のまま出力します。 LPCM 2ch: LPCM 2chにダウンミックスして出力します。
音量	AUDIO OUT、HDMI端子から出力される音量を設定します。 通常は0(ミュート)～50(0dB)の範囲で設定します。51(+1dB)～74(+24dB)に設定すると音声が増大されますが、コンテンツによっては音声が歪むことがあります。
起動時、内蔵ドライブのチェック	HDMA-4100起動時に内蔵HDDチェックの有効/無効を設定します。有効に設定した場合、起動に時間がかかる場合があります。
内蔵ドライブのスピンダウン時間	HDMA-4100内蔵HDDに一定時間アクセスしない場合、HDDの回転を停止するまでの時間を設定します(HDDの回転を停止した場合、次の再生開始に多少時間がかかります)。
内蔵ドライブへの書き込み	内蔵ドライブへの書き込みを禁止したい場合は[無効]に設定します。コンテンツの更新を行う場合は[有効]に設定を変更してください。

UPS動作モード	オムロン株式会社製 無停電電源装置BX35F/BX50Fを使用した場合の動作モード(電源が切れてからの駆動時間もしくはバッテリー残容量)を設定します。[バッテリー駆動時間]、[バッテリー残容量]を選択した場合はそれぞれのモードでシャットダウンします。 1 台のUPSから複数のHDMA-4100の電源を使用する場合、グループ名を設定しておくことでUPS接続されたHDMA-4100の通電状況により同時に電源が切れます(ネットワークを使用するため、スイッチングハブもUPS接続されている必要があります)。
ネットワークドライブ	ネットワークドライブを使用する場合のネットワーク名(例: ¥¥hdma-svr¥¥data1)とユーザー名、パスワードを設定します。(注: サブフォルダは指定できません)

●ネットワーク

IPv6	IPv6の有効/無効を設定します。
有線ネットワークの設定	
IPアドレス設定 (IPv4)	IPアドレスの取得方法および詳細設定を行います。[次のIPアドレスを使う]にチェックをつけた場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]および[デフォルトゲートウェイ]の設定が可能となります。
DNSサーバー設定	DNSサーバーの取得方法および詳細設定を行います。[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してDNSサーバーのアドレスを取得し、[次のDNSサーバーを使用する]にチェックを付けた場合は、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、DNSドメイン名を設定します。
無線ネットワークの設定	
IPアドレス設定 (IPv4)	IPアドレスの取得方法および詳細設定を行います。[次のIPアドレスを使う]にチェックをつけた場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]および[デフォルトゲートウェイ]の設定が可能となります。

DNSサーバー設定	DNSサーバーの取得方法および詳細設定を行います。[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してDNSサーバーのアドレスを取得し、[次のDNSサーバーを使用する]にチェックを付けた場合は、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、DNSドメイン名を設定します。
無線接続設定	USB無線LANアダプタを使用した無線接続の設定を行います。接続するアクセスポイントの識別子、セキュリティ暗号化方式、暗号化キーを設定します。 優先するネットワークインターフェース： 有線ネットワーク、無線ネットワークが共に有効な場合に優先するインターフェースを設定します。
NTPサーバー設定	NTPサーバーを利用した時刻補正の使用/不使用を設定します。[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してNTPサーバーのアドレスを取得し、[次のNTPサーバーを使う]にチェックを付けた場合は、使用するNTPサーバー(サーバー名、またはIPアドレス)を設定します。更新間隔は[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]、[次のNTPサーバーを使う]のどちらにチェックを付けた場合でも設定する必要があります。
ホスト名	ホスト名を設定します。
DHCPによる自動設定・更新	MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用することでDHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新を行えます。
SNMP	ネットワーク接続された機器を一括管理するプロトコルであるSNMPに関する設定を行います。
Samba共有	HDMA-4100内蔵HDDのファイル共有状態やユーザー名、パスワードを設定します。[リードオンリー]もしくは[リードライト]を選択することで、[スケジュール再生コンテンツ]、[シリアル制御コンテンツ]および[フィラー再生コンテンツ]を直接参照可能にすることができます。

DGCP	ポート番号： DGCPで使用するポート番号を設定します。 マルチキャストアドレス： DGCPで使用するマルチキャストアドレスを設定します。 グループID： 所属するグループのグループIDを設定します。 認証： 認証方法を設定します。 リモコン処理： リモコン操作を受信した時の動作を設定します。
バッファリング時間	ストリーム再生時のバッファリング時間(映像遅延時間)を0/200/500/1000ミリ秒の中から設定します。
FEC	FECの有効/無効を選択します。
RTSPキープアライブ	RTSPキープアライブの有効/無効を設定します。
RTSPキープアライブ失敗時の再接続	RTSPキープアライブ失敗時の再接続の有効/無効を設定します。
RTSPエラー時のリトライ動作	MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4がRTSPエラーレスポンスを返した場合、RTSP接続をリトライするかを設定します。

●スケジュール

コンテンツドライブ	内蔵ドライブ、接続されたUSBメモリもしくはネットワークドライブA～Dからスケジュール再生のデフォルトコンテンツのドライブを設定します。
スケジュールファイル	スケジュールファイル名を設定します。初期状態ではSchedule.txtが選択されています。
チャンネル	デフォルトチャンネル名を設定します。設定していない場合はスケジュールの最初に記述されているチャンネルを使用します。
フィラーファイル	フィラーとして再生する動画ファイル名を指定します。動画ファイルは、あらかじめSamba共有のフィラーコンテンツフォルダ (filler) にコピーしておきます。

エラー発生時に フィラーを再生	スケジュールファイルの読み込み、または、コンテンツの再生でエラーが発生した場合にフィラーを再生する場合は「有効」に設定します。
空き時間にフィ ラーを再生	スケジュールが空の時間帯にフィラーを再生する場合は「有効」に設定します。

●シリアル

シリアルポート 機能	シリアルポートの機能を、無効、リモートシリアル、シリアル制御、スケジュールコマンド、タッチスクリーン制御から選択します。 選択したシリアルポート機能に応じて、設定できる項目は異なります。 無効： シリアルポートを使用しません。 リモートシリアル： リモートシリアルに使用します。 シリアル制御： HDMA-4100をシリアル接続した機器からコントロールすることができます。 スケジュールコマンド： シリアルポートをスケジュール再生モードで使用します。 タッチスクリーン制御： 本製品では使用しません。
共通の設定	
通信速度	シリアルポートの通信速度を設定します。
データビット長	シリアルポートのデータビット長を設定します。
パリティ	シリアルポートのパリティ(データの誤りを検出する技法)を設定します。
ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を設定します。
フロー制御	シリアルポートのフロー制御を設定します。

リモートシリアル独自の設定	
リモートシリアル	リモートシリアル機能を設定します。 連動（ストリームサーバー）： 接続しているストリームサーバーに連動してリモートシリアル接続を行います。 固定接続： 指定したホストコンピュータに対して接続を行います。 サーバー動作： 待機ポートに接続してきたホストとの間でシリアルコマンドを送受信します。
接続先ポート番号	リモートシリアルのホストコンピュータのポート番号を設定します。
待機ポート番号	シリアルコマンドの受信に使用するポート番号を設定します。
プロトコル	通信プロトコルを設定します。TCP、UDPより選択します。
ログ出力	ログ出力の有効/無効を設定します。シリアルポート出力で流れている通信データの出力状況をログ出力する場合は、[有効]を選択します。
シリアル制御独自の設定	
コンテンツドライブ	シリアル制御のデフォルトコンテンツのドライブを設定します。内蔵ドライブ、USBドライブ、ネットワークドライブA-Dより選択します。
シームレス再生	再生シリアル制御モードにおけるシームレス再生の有効/無効を設定します。
ネットワークシリアル制御	ネットワークシリアル制御の有効/無効を設定します。有効を選択した場合は[待機ポート番号]を設定します。ネットワークシリアル制御ではネットワーク経由でシリアル制御と同様にコマンド入力での操作が可能となります。
シリアル制御動作モード	シリアル制御のコマンドモードを選択します。 [HDMA-4000(Ver.1.x互換)]はHDMA-4000との互換性維持のためのモードです。

再生開始コマンド (PL)から再生開始までの遅れ	PLコマンドを発行後にHDMA-4100で再生が開始されるまでの時間を設定します。
--------------------------	---

●再生モード

シーク後の映像表示	SEコマンドなどでファイルを停止する場合の停止位置を設定します。
複数台同期モード	HDMA-4100は同期動作に対応していません。[同期なし]に設定してください。

●ビデオ出力

表示モード	モニタへの出力モードを設定します。HDMIモニタが対応していない場合、表示モードは自動的に設定されます。
色空間(HDMI)	HDMI出力での色空間規格を選択します。HDMIモニタが対応していない場合、色空間は自動的に設定されます。
RGB出力レンジ (HDMI)	HDMI端子からRGB出力する際の出力レンジを設定します。 16-235：RGB 16～235の範囲で設定します。 0-255：RGB 0～255の範囲で設定します。
ストリーム色空間の強制設定	使用する素材にあわせて[ストリーム色空間の強制設定]を以下のように設定してください。 無効: ストリーム色空間の強制設定を行いません（自動設定） BT.709 (HD): HD素材を使用する場合に選択します。 BT.601 (SD): SD素材を使用する場合に選択します。
モニタアスペクト	表示に使用するモニタにあわせてアスペクト比を設定します。
4:3モニタへ映すときのモード	4:3モニタ出力時の映像表示方式を設定します。
OSD色深度	OSD表示の色深度を指定します。HDMI出力時、H.264/AVCのコンテンツをOSD表示と同時に再生する場合は16bppを指定してください。
OSD背景色 (RRGGBB)	OSDの背景色を16進数で指定します。

ストリームが途絶えた時の表示	MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4からのストリームが再生中に途絶えたときのビデオリージョンの表示を設定します。 OSD背景色： OSD背景色(RRGGBB)で設定された色を表示します。 最終フレーム： 動画の最後のフレームを表示し続けます。
クローズドキャプション	入力ストリームに含まれる字幕情報(CEA-608規格)をビデオ信号に合成して出力します。 アンシラリデータ： 以下の場合にはチェックを付けてください。 • MEDIAEDGE LEB Proから配信されるストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合 • MEDIAEDGE-SVS4から配信されるH.264のストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合

●メニューモード

ホームURL	メニューモード起動時に表示するURLを指定します。 空白（ブランク）の場合はローカルメニューを表示します。 MEDIAEDGE-STB4のメニューページを表示する場合は [http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp]を入力します。
アイドルモード	アイドルモードの設定を行います。アイドルモードの有効/無効、アイドル状態の有効時間、アイドル時間経過後に表示するコンテンツ（表示コンテンツは RTSP URLで指定、動画コンテンツのみ対応）、表示コンテンツの停止後に移動するページ（ページは HTTP URLで指定）を設定します。リンク先を空白（ブランク）にした場合は元のページへ移動します。
OSD表示モード	OSD表示モードの設定を行います。 オフ： OSD表示を行いません。 自動： OSD表示を行い、自動で消去します。 手動： ユーザー操作により、OSD表示/非表示を切り替えます。
OSD表示時間	OSD表示モードが自動のときのOSD表示時間を設定します。
ジャンプ時間	コンテンツ再生中にリモコンの ◀ / ▶ ボタンを押したときのジャンプ時間を設定します。

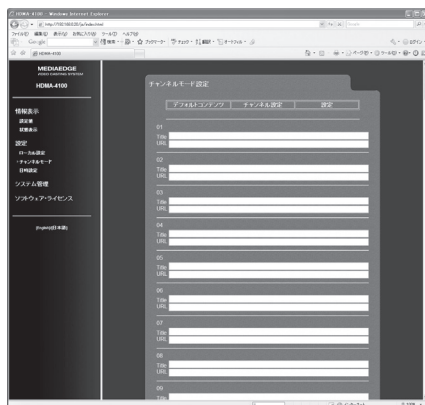
エラーポップアップ表示	ポップアップ表示の動作（静止/非表示/移動）を設定します。 [移動]を選択することで、画面の焼き付けを軽減することができます。
ローカルメニュー表示順序	ローカルメニューの表示順序を選択します。
ローカルメニュールートディレクトリ設定	ローカルメニューのルートディレクトリを設定します。
ローカルメニュー表示対象コンテンツ	ローカルメニュー使用時、静止画、Flash、SMILなどの表示/非表示を設定します。

設定-チャンネルモード

設定内容を保存する場合、右上の[設定]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。

*ユーザー名は、工場出荷時はadminに設定されています。

*パスワードは、工場出荷時は設定されていません。



デフォルトコンテンツ	デフォルトコンテンツのURLを指定します。空欄の場合は黒画面が表示されます。 例： rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01
チャンネル設定	設定したタイトルとURLを99個まで登録できます。 タイトル： コンテンツのタイトルを設定します。 URL： コンテンツのURLを設定します。 例： rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01

設定一括設定

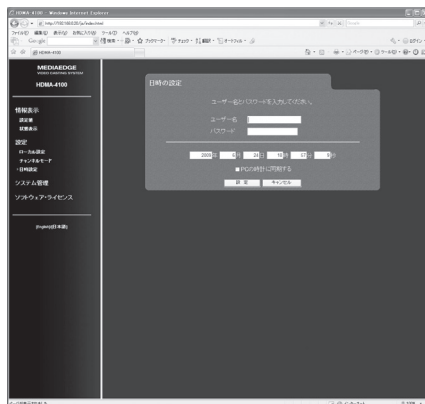
一括設定ファイルにより設定値を一括で設定します。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
一括設定ファイル	一括設定ファイルが存在するパスを設定します。[参照]ボタンをクリックして一括設定ファイルを選択します。一括設定ファイルは「システム管理 - 情報の取得 - 設定値の取得」により取得することが可能です。

設定-日時設定

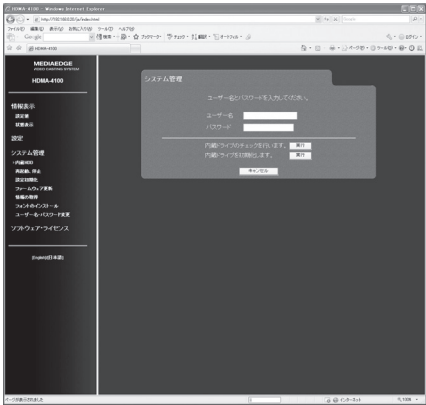
日時の設定を行います。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
年/月/日/時/分/秒	HDMA-4100の日時を設定します。
PCの時計に同期する	PC内蔵時計の時間と同期させる場合はチェックをつけます。チェックをつけると現在のPC内蔵時計の時間が表示されます。

システム管理-内蔵HDD

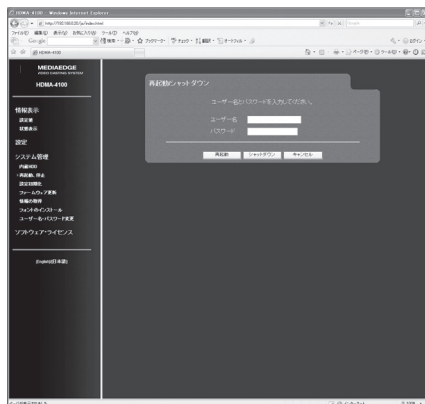
内蔵ドライブに関する設定を行います。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
内蔵ドライブのチェックを行います。	HDMA-4100内蔵ドライブのチェックと異常の修復を行います。
内蔵ドライブを初期化します。	HDMA-4100内蔵ドライブを初期化します。初期化するとすべてのデータは消去されます。

システム管理 - 再起動、停止

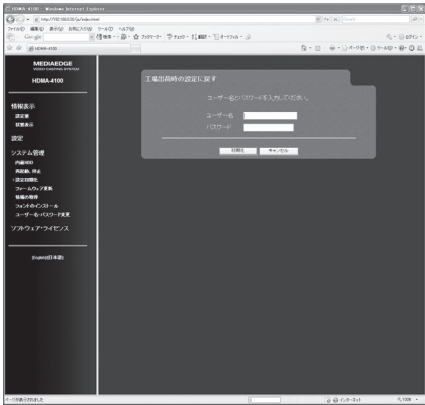
システムの再起動、もしくはシャットダウンを行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。

システム管理・設定初期化

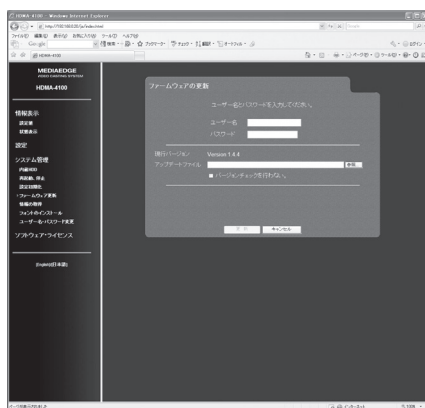
システムを工場出荷時の設定に戻します。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。

システム管理-ファームウェア更新

ファームウェアを更新します。ファームウェアの更新を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



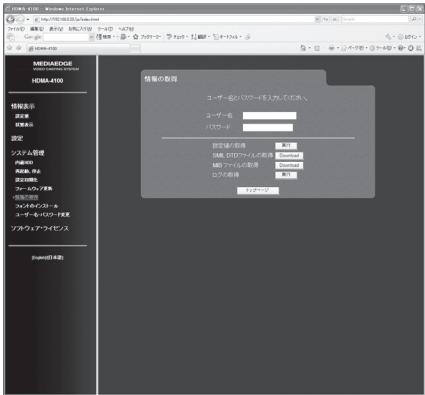
ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
現行バージョン	現行バージョンを表示します。
アップデートファイル	アップデートファイルが存在するパスを設定します。 [参照...]ボタンをクリックしてアップデートファイルを選択します。
バージョンチェックを行わない	ファームウェアのバージョンチェックを行わず、強制的にファームウェアを更新します。

注意

[ファームウェアの更新]画面で「バージョンチェックを行わない」にチェックを付けることでファームウェアのバージョンを下げるすることができます。この場合は必ず"hdma4100_full_x.x.x.system"のように"full"と表記されているファームウェアを使用してください。

システム管理-情報の取得

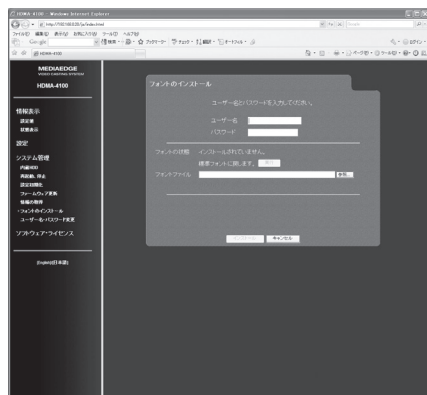
HDMA-4100の設定やログをファイルとして出力します。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
設定値の取得	HDMA-4100の設定情報を取得する場合に使用します。このファイルはDHCPによる自動設定で使用します。使用する場合はMEDIAEDGE-SVS4の[ベンダ固有情報設定ツール]に設定ファイルのURLを指定してください。([ベンダ固有情報設定ツール]については"MEDIAEDGE-SVS4 User Guide"を参照してください。)
SMIL DTDファイルの取得	SMIL DTD(Document Type Definition)ファイルを取得する場合に使用します。
MIB ファイルの取得	SNMPで使用するMIB(Management Information Base)を取得する場合に使用します。
ログの取得	動作ログ取得する場合に使用します。

システム管理-フォントのインストール

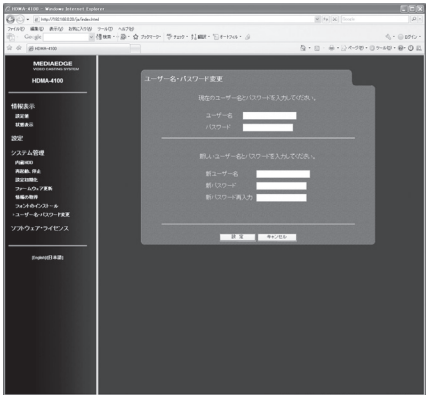
HDMA-4100へのフォントのインストールを行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は設定されていません。
フォントの状態	インストールされたフォントを表示します。
標準フォントに戻します。	初期状態の標準フォントに戻します。
フォントファイル	インストールするフォントファイル名を指定します。TrueType (.ttf)フォントのみ指定可能です。

システム管理-ユーザー名・パスワードの変更

ユーザー名・パスワードを変更します。変更を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	現在設定されているユーザー名を入力します。
パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
新ユーザー名	新たに登録するユーザー名を入力します。
新パスワード	新たに登録するパスワードを入力します。
新パスワード 再入力	新たに登録するパスワードを再入力します。

2 ファームウェアのアップデート

2-1 アップデート方法

Webブラウザによるアップデート

- (1) HDMA-4100と接続するPCにファームウェアをコピーします。
- (2) Webブラウザを使い、HDMA-4100 Webコンソールを呼び出します。
- (3) ファームウェアの更新を選び、ファイルを指定して更新を行います。
- (4) 更新完了後、HDMA-4100は自動的に再起動します。

注意

[ファームウェアの更新]画面で「バージョンチェックを行わない」にチェックを付けることでファームウェアのバージョンを下げるすることができます。この場合は必ず"hdma4100_full_x.x.x.system"のように"full"と表記されているファームウェアを使用してください。

ネットワーク、USB経由によるアップデート

- (1) ファームウェアおよびファームウェア更新用の制御ファイルをUSBメモリ、もしくはコンテンツ更新用フォルダへコピーします。
※ 制御ファイルについてはChapter 3「コンテンツ更新制御ファイルの書き方」を参照してください。
- (2) 更新完了後、HDMA-4100は自動的に再起動します。

【更新されない場合】

- ・ ファイルが不正なとき。
- ・ 同じ、もしくはより新しいバージョンに更新されているとき。

DHCPによるアップデート

MEDIAEDGE-SVS4付属の[ベンダ固有情報設定ツール]を使用して、HDMA-4100の起動時に自動的にファームウェアをアップデートすることができます。詳細はMEDIAEDGE-SVS4付属のマニュアルを参照してください。

注 意

- アップデート中にコンテンツの再生やリモコン操作などを行わないでください。
- アップデート中にHDMA-4100の電源を絶対に切らないでください。

3 メンテナンスモード

3-1 メンテナンスモードとは

HDMA-4100のメンテナンスモードは、前項「2 ファームウェアのアップデート」においてファームウェアの更新に失敗し、HDMA-4100が正常に起動しなくなった場合、もしくは[ユーザー名・パスワードの変更]画面で変更したユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合などの緊急復旧用プログラムです。

ファームウェアの更新では通常の更新ファイルではなく、メンテナンスモード専用の更新ファイルを使用します。

接続と設定

- (1) RS-232Cポートを備えるコンピュータとHDMA-4100をシリアルクロスケーブルを使って接続します。
- (2) コンピュータ上でターミナル通信ソフトを起動してください。

通信パラメータは以下のとおりです。

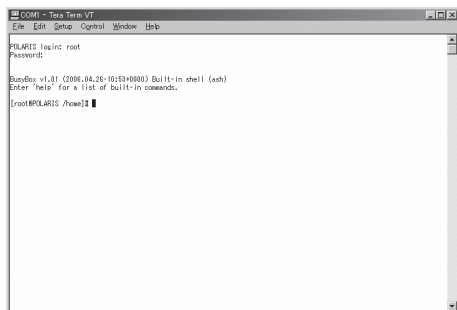
ボーレート：	115200bps
データビット長：	8ビット
ストップビット長：	1
パリティ：	なし
フロー制御：	なし

注 意

- ・メンテナンスモードを使用する際、本書に記載された以外の操作は行わないでください。予期しない操作によりファームウェアが壊れる恐れがあります。

起動方法

電源が投入されている状態で、リセットを押し続けてください。しばらくすると、ターミナル通信ソフトの画面上にPOLARIS login:と表示されます。



```
COM1 - Tera Term VT
File Edit Setup Control Window Help

POLARIS login: root
Password:

Busybox v1.01 (2006.04.26-10:53+0000) Built-in shell (ash)
Enter 'help' for a list of built-in commands.

[root@POLARIS /home]#
```

(1) この状態で以下のように入力してください。

```
POLARIS login: root
Password: polaris
```

※ パスワードを入力しても画面上には何も表示されません。

(2)ターミナル通信ソフトの画面上に以下のように表示されます。

```
Busybox v1.01 (2006.04.26-10:53+0000) Built-in shell (ash)
Enter 'help' for a list of built-in commands.

[root@POLARIS/home]#
```

※ ユーザー名やパスワードを正しく入力していない場合は、手順1の画面が繰り返し表示されます。

3-2 ファームウェアの復旧

IPアドレスの設定

DHCPが使用可能でない場合、IPアドレスを設定します。

※ここでは設定するIPアドレスが192.168.0.20の場合を例に説明しています。

※DHCPが使用可能な場合は、DHCPによりIPアドレスが割り当てられています。

(1) 以下のように入力し、IPアドレスを設定してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig eth0 192.168.0.20
```

(2) IPアドレスを確認する場合は、以下のように入力してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig
```

ファームウェアのダウンロード

Webサーバー、FTPサーバーもしくはUSBメモリからメンテナンスモード更新用のファームデータをダウンロードします。

(1) 以下のように入力し、取得するファームウェアのアドレスを設定してください。

※ここではファームウェアが格納されているFTPサーバーのIPアドレスが192.168.0.2の場合を例に説明しています。

```
[root@POLARIS /home]# cd /tmp
[root@POLARIS /tmp]# wget ftp://192.168.0.2/hdma4100_mnt.xx.xx.xx.tgz
```

USBメモリにコピーされたファームウェアで更新する場合は以下のように入力してください。

※xx.xx.xxはバージョン番号。

```
[root@POLARIS /home]# cd /tmp
[root@POLARIS /tmp]# mount -t vfat /dev/sda1 /mnt
[root@POLARIS /tmp]# cp /mnt/hdma4100_mnt.xx.xx.xx.tgz .
```

ファームデータの復旧

ファームウェアの復旧を行います。

- (1) 以下のように入力し、ファームウェアを復旧してください。

```
[root@POLARIS /tmp]# tar zxvf hdma4100_mnt.xx.xx.xx.tgz  
[root@POLARIS /tmp]# ./up
```

※ 再び [root@POLARIS /tmp]# と表示されるまで操作を行わないでください。

システムの再起動

システムを再起動します。

- (1) 以下のように入力し、システムを再起動してください。

```
[root@POLARIS /tmp]# reboot
```

3-3 ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合

ユーザー名もしくはパスワードを忘れてしまった場合には、HDMA-4100を工場出荷時の設定に戻すことができます。初期化完了後、ユーザー名はadmin、パスワードは空白（ブランク）となります。初期化完了後は通常モードで起動してください(ユーザー名、パスワード以外の設定値も初期化します)。

(1) 以下のように入力し、HDMA-4100を初期化します。

```
[root@POLARIS /home]# setdef
```



Appendix

1 制限事項

- HDMA-4100でHDとSDコンテンツのシームレス再生を行うと、内蔵のMPEGデコーダデバイスが停止(ハングアップ)する可能性があります。
- MPEG-2/H.264など圧縮形式の異なるコンテンツ間のシームレス再生は対応できません。
- MPEG-1の再生は対応していません。
- H.264と静止画、Flash、HTML、テロップの混在表示を行うとOSD表示が正しく行われないことがあります。この場合は[設定-ローカル設定]-[ビデオ出力]の"OSD色深度"を"16bpp"に設定してください。
- 1つのRTPに格納するTS/パケット数が7～31のとき、FEC処理時の再生可能最大ビットレートは15Mbpsで、TS/パケット数が32以上のときはFEC処理時の再生可能最大ビットレートが25Mbpsです。
- FEC有効時はストリームサーバーの設定により再生遅延が大きくなる場合があります(RTPに格納するTS/パケット数、FECパラメータなどに依存します)。また、RTPのTS/パケット数やFECパラメータの数値を大きくすると、内部メモリの不足によりコンテンツ再生が正常に行われない場合があります。

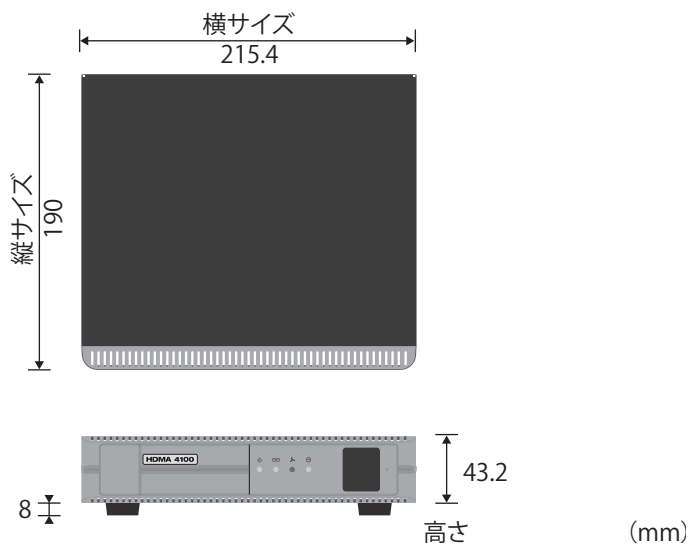
2 ハードウェア仕様

HDMA-4100

ネットワークインターフェース		
形式	100Base-TX、1000Base-T Ethernet／IEEE802.3フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応	
端子	RJ45モジュラコネクタ × 1	
映像出力		
480/59.94i(NTSC形式)	SD信号	
576/50i(PAL形式)	端子	コンポジット出力端子× 1 (適合負荷インピーダンス：75Ω)
1080/59.94p (HDMI)	デジタル信号	
1080/50p (HDMI) 1080/59.94i (HDMI) 1080/50i (HDMI) 720/59.94p (HDMI) 720/50p (HDMI) 720x480/59.94p (HDMI) 720x576/50p (HDMI) 640x480/59.94p (HDMI)	端子	HDMI端子× 1 (タイプA)
音声出力		
アナログ音声出力	形式	ステレオライン出力 (不平衡)
	端子	左チャンネル ピンジャック× 1 (白) 右チャンネル ピンジャック× 1 (赤)
	最大出力レベル	2Vrms @R _L =10kΩ
	負荷インピーダンス	10kΩ 以上を推奨
デジタル音声出力	形式	SPDIF 同軸
	端子	ピンジャック× 1 (黒)
	出力レベル	0.5V @R _L =75Ω
	適合負荷インピーダンス	75Ω

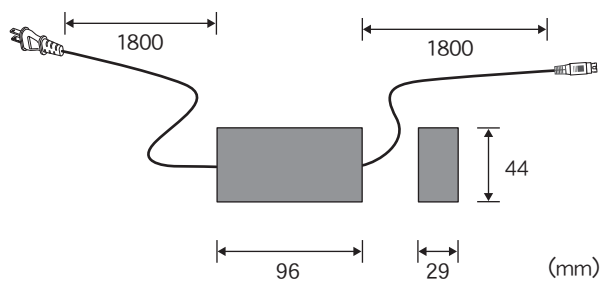
リモートコントロール		
赤外線ワイヤレスリモートコントロール	ワイヤレスリモコン	赤外線受光部× 1
汎用入出力		
シリアルポート	形式	RS-232C
	端子	DSUB-9ピン（オス）× 1
USBポート	形式	USB2.0準拠
	端子	USB type A x1(バスパワー500mA) USB type A x1(バスパワー100mA)
定格		
電源電圧	ACアダプタ	入力：AC 100V～240V（50Hz/60Hz） 出力：DC 12V 3A（max）
	本体	入力：DC 12V 2.9A（max）
温度条件	動作温度範囲	5～40℃ *結露なきこと。
動作姿勢	水平	
その他		
外形寸法	W215.4 x D190 x H43.2mm （端子、突起物、ゴム足含まず）	
質量	約1.5kg	

●HDMA-4100 本体



※空冷ファンの吸気、排気を妨げないよう空間を設けること。

●ACアダプタ

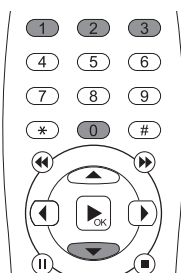


3 リモコンIDの設定

各リモコンにIDを0番から3番まで、割り当てることができます。IDの割り当ては電池ケースをとりはずした場所にあるDIPスイッチで設定します。

ON		ボタン操作でID変更可能（全部 OFF：出荷時）
OFF		
ON		ID0固定（1のみ ON）
OFF		
ON		ID1固定（2のみ ON）
OFF		
ON		ID2固定（3のみ ON）
OFF		
ON		ID3固定（4のみ ON）
OFF		

ボタン操作でのID割り当てにはリモコンの0～3までの数字ボタンと ボタンを使用します。工場出荷時のIDは0番に設定されています。ここではIDを2番に設定する手順を例に説明します。



- ①リモコンの ボタンを押しながら、② ボタンを1秒以上長押しします。

注 意

ID設定が変更されても警告音が鳴るなどの合図はありません。

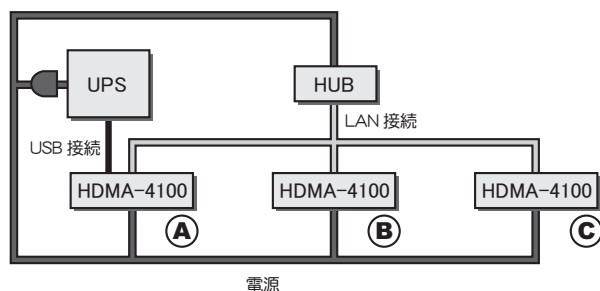
4 無停電電源装置との接続

1. 対応UPS

オムロン社製 BX35F/BX50F

2. 接続および設定方法

■ 接続図



注意

スイッチングハブの電源もUPSに接続する必要があります。

3台のHDMA-4100(A)(B)(C)でUPSを利用する場合、

- (1) 上接続図のように、UPS、スイッチングハブ、HDMA-4100を接続します。
- (2) (A)(B)(C)のWebコンソールから[ローカル設定]—[システム]—[UPS動作モード]の項で
 - ① (A)(B)(C)に対して、[グループ名]に共通の名前を設定します（例えば、"UPSGroup1"）。
 - ② (B)(C)に対して、[UPS動作モード]を[無効]に設定します。
 - ③ (A)に対して、[UPS動作モード]を[バッテリー駆動時間]または[バッテリー残容量]に設定し、シャットダウンの条件を設定します。
- (3) シャットダウンの条件が満たされた場合、(A)(B)(C)がシャットダウンし、1分後にUPS本体がシャットダウンします。

3. その他

USB/HUB経由で接続を行った場合は動作保証外となります。

5 無線ネットワークの使用

1. 対応製品

Corega社製 WLUSB300AGN

BUFFALO社製 WLI-UC-AG300N

2. 設定方法

Webブラウザの「ローカル設定」―「ネットワーク」で無線ネットワークの設定を行った後、USBアダプタを正しく挿入してから再起動を行ってください。

3. その他

ホットプラグには対応していません。

6 コネクタピン配置

100Base-TX/1000Base-T Ethernet(LAN)

RJ45

Pin#	Signal Name
1	TP0+
2	TP0-
3	TP1+
4	TP2+
5	TP2-
6	TP1-
7	TP3+
8	TP3-

